

第二十一回帝國議會 院 蠶病豫防法案委員會會議錄(筆記)第一回

委員成立

明治三十七年十二月二十日議長ノ指名ヲ以テ本委員十八名ヲ選定ス其ノ氏名左ノ如シ

大野 久次君 工藤 善助君 井上 甚太郎君
村野常右衛門君 遠藤 良吉君 廣瀬 久政君
降旗 元太郎君 平島 松尾君 井上 精一郎君
朝倉 鐵藏君 淺見 竹太郎君 原田 赴城君
南條吉左衛門君 星野 長太郎君 宮部 襄君
中谷 宇平君 武藤 金吉君 河上 英君
明治三十七年十二月二十一日午前十時二十分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

大野 久次君 工藤 善助君 井上 甚太郎君
村野常右衛門君 遠藤 良吉君 廣瀬 久政君
降旗 元太郎君 井上 精一郎君 朝倉 鐵藏君
南條吉左衛門君 星野 長太郎君 宮部 襄君
武藤 金吉君

年長者星野長太郎君投票管理者トナル

○星野長太郎君 是ヨリ委員長理事ノ選舉ヲ致シマス、夫レテ皆様ニ御諮リ致シマスガ、年長者ヲ委員長ニ年少者ヲ理事ニ選舉シテ宜シウゴザイマスガ、夫レニ附ケ加ヘテ申シマスルガ、私ガ年長者アリマスガ、私ハ咽喉ヲ痛メテ居リマスカラ、私ハ辭退致シマス

○朝倉鐵藏君 私ハ降旗元太郎君ヲ委員長ニ年少者ヲ理事ニ推薦シタイ考デス

○武藤金吉君 私ハ年長者ガ御辭退デスカラ次ノ年長者即チ井上甚太郎君ヲ委員長ニ推薦シ、ソーシテ理事ハ委員長ノ指名ニ任ジタイノデス

○星野長太郎君 御輿論ガアル様デアルカラ投票ヲ用井上コトニ致シマス、ソーシテ理事ハ委員長ノ指名ト云フコトニ致シマス

(無記名投票ヲ以テ互選ヲ行フ)

○星野長太郎君 現出席者ハ十一人デス、井上甚太郎君ガ七票、降旗元太郎君ガ四票デアルカラ、井上甚太郎君ガ當選セラレマシタ

○井上甚太郎君 私ガ委員長ニ當選シマシタ、理事ハ廣瀬久政君ヲ指名致シマス

明治三十七年十二月二十一日午前十一時六分開議

出席國務大臣 左ノ如シ

農商務大臣 男爵清浦 奎吾君

出席政府委員 左ノ如シ

農商務次官 和田彦次郎君

農商務省農務局長 農學博士 酒匂 常明君

○委員長井上甚太郎君 是カラ開會致シマス

○政府委員酒匂常明君 此蠶病豫防法ノ提出ノ大體ノ理由ハ、昨日本會テ陳述致シテ置キマシタ、尙本日多少此實施上ノ點ニ就キマシテ、幾ラカ補フデ置キタイと思ヒマス、此蠶病豫防法ノコトヲ御話致シマス前ハ、歷史上蠶種検査法ノコトニ涉ル必要ガアラウト思ヒマスガ、此蠶種検査法ハ明治三十一年以來ノ事蹟ガアリマスルデス、其事蹟ニ依リマスルト、一化性即チ春蠶ニ於キマシテ、病毒ノ原種ノ母蛾ノ検査ヲ行ヒマシタ、病毒ノ歩合ガ、明治三十一年ハ二割一分デアリマシタ、然レニ三十二年ニナリマシテ一割八分、三十三年ガ一割八分、是ハ同ジコトデアリマス、三十四年ガ一割二分、三十五年ガ一割一分、三十六年ガ一割、斯様ニ此原種ノ母蛾ノ病毒ノ歩合ト云フモノ、百分率ガ年々減ジテ來テ居リマス、最初ノ二割一分ガ、三十六年ニハ一割ニナツテ居ルト云フ譯デゴザイマスカラ、半分ニナリマシタヤウナ次第デアリマスカラ、此蠶種検査法ト云フモノハ、先ツ相當ノ効能ガアッタト云フコトハ、是デ分リマス、而シテ斯様ニ蠶種検査法ニ依リマシテ、此微粒子ト云フ病氣ノ分ハ、唯今御話スル如ク、餘程百分率ノ歩合ガ減ツテ來テ居ル、即チ微粒子ノ少ナイ種ヲ飼育シテ、サウシテ養蠶スルトコロノモノハ、自然夫ダケ多クノ利益ヲ得來タヤウナ次第デアリマス、然ルトコロ蠶ニハ種々ノ病ガアリマシテ、獨リ最初最モ慘毒ヲ逞クシ注意ヲ喚ビ起シマシタノハ、微粒子デアリマスガ、其後養蠶ノ發達ト共ニ、次第ニイロ／＼ナ病氣ガ出テ來マス、即チ此豫防法ノ第一條ニアリマスル如ク、軟化病、硬化病、膿病、嚙咀病ト云フガ如キハ、其主ナルモノデアリマス、而シテ一方ニ於テ種々ノ病氣ガ段々起ル、而シテ其病氣ノ原因經過治療法ト云フヤウナコトニ付キマシテ、多年研究シタ種々ノ學者モアリマスガ、就中農商務省所轄ノ蠶業講習所ニ於キマシテ、研究ヲ凝ラシテ居リマシタ次第デアリマス、其研究ヲ凝ラシマシタ結果、此毒ノ性質ハ或ハ「バクテリア」デアルトカ、或ハ「フンギ」ニ原因シテ居ルカ、又傳染病デアルカ、傳染病デアラナレバ、如何ニシタラバ、此消毒ノコトハ出來ルデアラウカト云フヤウナコトガ、明瞭ニナリマシタデアリマス、デ一方ニ於テ病氣ノ害ガ非常ニ甚ダシイ、然レニ養蠶ハ日本ニ取リマシテ、誠ニ大切ナ生産業デアッテ、内地ノ用、外國ノ輸出、頗ル重要ナ位置ニ居リマス、從ツテ又發達モ凡ソ日本ノ各種ノ物産中ニ、養蠶位ニ長足ノ發達ヲナシタルモノハナイト云フ位デアアル、甚ダ賀スベキコトデアアル、其發達ニ連レテ此病氣ガヤハリ發達シテ參リマシタ、所デ此事ニ就キマシテハ獨リ學者ノ注意ノミナラズ、無論此養蠶家或ハ製糸家ナドハ、特ニ其實際其ノ蠶ノ病氣ニ遭遇シテ、困難ヲ感ジ、又損害ヲ受ケテ居ラル、ノデアリマスカラ、皆之ニ就イテハドウカシナケレバナラヌト云フコトハ考ヘテ、當業者モ居ルト云フ話デアアル、而シテ段々原因ヤラ、豫防消毒ノ法ガ分リマシタカラ、先ツ此種ヲ製スル當業者ノ中デモ、所謂全軀ト云フベキモノ、又重ナル部分ニ於キマシテハ、既ニ大分此豫防消毒ノ手段ヲ、實際モウ現ニ施シテ居ルデアアル、併ナガラ日本全國カラ申シマスルト、ヤハリ一部分ト云フコトニ過ギナイノデアリマスカラシテ、之ヲ捨テ置キマスレバ、皆之ハ傳染性ノモノデ年々殖エル、此

病毒ノ附着シテ居ルコロノモノガ、此儘ニシテ置キマスレバ、唯々年々其病毒ヲ、又其器具或ハ其部屋ヲ飼ウトコロノ蠶ニ感染シテ行クト云フ次第デ、次第ニ廣マルノミデア、又此蠶蛆、即チ蛆ノコトハ、之ハマア古ヨリ日本ニアッタノデアリマシテ、尤モ困ラデ居リマシタノデ、之モ相當ノ設備ヲシマスレバ、滅ズルト云フ實驗ガアリマスルノデス、此蠶蛆ノ如キモ、今日ノ儘ニ放棄シテ置キマスレバ、唯々此蛆ガ殖エ、從テ其蛆ガ蛹ニナル、其蛹ガ蠶ニナツタリ、其蠶ガ澤山ニ卵ヲ産ンデ、重複シテ唯此蛆ガ害ヲ日本ニ逞フスルヤウナ實況デアリマスカラ、是カラ又之ヲ排除ク手段ガ分リマシタ以上ハ、併セテ行ッテ行カナケレバナラヌノデ、茲ニ於テ蠶病豫防法ノ發布ノ必要ヲ感ジマシタノデアリマス、而シテ又此豫防法ノ發布ト云フコトニ付キマシテハ、既ニ明治三十三年ノ七月ニ、静岡縣ノ蠶系業組合カラ、建議ガ政府ヘ出マシタ、之ガ初メデアリマシテ、其後或ハ九州ノ實業大會、關東ノ實業大會、全國ノ蠶絲業大會、全國ノ農事會等ヨリ、間斷ナク此法律ヲ制定シテ、之ハ取締ラナケレバ行ケナイト云フ建議ガ、出テ居ル次第デアリマス、政府ニ於キマシテモ、既ニ數年前ヨリ、之ヲ發布シタイ考デアリマシタガ、議會ガ中途ニ解散ニナツタリスルヤウナコトデ、今日ニナツテ居リマス、ソレカラ此法律ヲ實施シマスル上ニ於テ、今日ノ微粒子病ノ豫防ノ、蠶絲検査法以上ニ、ドレダケノモノガ必要デアルカト云フコトハ、併セテ申上ゲテ置ク必要ガアラウト思ヒマスガ、蠶絲検査微粒子病ノ豫防ハ、一番手數ト入費ガ掛ルデアリマス、一々顯微鏡ヲ検査フシナケレバナラヌモノデアリマスカラ、一番入費ト手數ガ掛カル、從テ現今各府縣ニ於テ其設備ヲシテ居ルデアリマスガ、今回更ニ外ノ病氣ヲ追加致シマスルコトナリマシテ、ソレガタメニ餘程ノ入費ガ増スカト云フト、モウ之ハ其養蠶ヤ及種ヲ取リマシタ後、主トシテ此蠶室或ハ蠶具等ノ豫防消毒ノ取締リデアリマスカラシテ、決シテ其微粒子病ノ時ニ於ケル如キ、複雑ナ器械ハ要ラナイノデ、併シナガラ從前ヨリモ監督ノ種類及監督ノ範圍ガ、廣クナリマスルダケ、多少ノ人及多少ノ旅費ト云フモノヲ加ヘナケレバナリマセヌ、ソレノモノコトデアリマシテ、之ガタメニ中央地方ニ、非常ナ入費ノ増加ヲ來タスト云フ虞ハアリマセヌ、凡ソ既ニ此微粒子病検査ノ時分ニ於キマシテモ、ドウモ此検査員ノ資格ト云フコト、及監督ト云フコトニ付キマシテ、遺憾ヲ感ジテ居ル點モ多カッタデアリマス、況ンヤ今回ノ如キ監督ノ種類、範圍ガ廣クナリマシタ以上ハ、此任ニ當タルコトコロノ職員ハ、從前ノヤウナ唯一時僱ヒノヤウナ資格デハ、到底完全ノ効果ヲ期スルコトハ、出來ナイト云フコトデ、此法律ニモ終ヒノ方ニ明條ガアリマスル通ニ、種々ノ懲戒ノ或ハ刑罰ノ途モ出來テ居リマス、而シテ一方ニ於テ、此明治三十八年度ノ豫算ニ明記シテゴザイマスルガ、蠶絲検査法ト云フ、今マデノ法律ノタメニ、政府カラシテ地方ニ十一万幾千ト云フ金ヲ補助シテ居リマス、之ヲ廢シマシテ、現在ノ此蠶絲検査法ニ對シテ補助シテ居リマスル金ヨリモ、約九千圓許リ減ジマシタ、金額間ニ合フデアリマシテ、ソレヲ以テ監督ノ任ニ當ルモノハ、悉ク官吏ニシマシタ、サウシテ一部分ハ、中央ニ之ハ數箇ホシノ小部分デアリマシテ、其他ハ各地ニ高等官及判任官ノ監督官吏ヲ配當スル案デアリマス、サウシテ其以下ノモノハ、各地方デ養蠶ヲ行キマスレバ、ソレデ事足リルデアリマス、從前ヨリハ無論若干ノ經費ノ増加ハ、必要デアリマスル、之ハ即チ此法律ニ手數料ヲ取ルコトヲ、規定シデアリマスカラ、其手數料ヲ取リマスレバ、充分辨ズルデアリマス、又其手數料モ決

シテサウ澤山ハ取ルニ及バナイ、一蛾ニ付キマシテ先ヅ二厘位デ宜シカラウト思ヒマス、ソレカラ製絲用ノ種紙デアリマスレバ、一枚二錢五厘カ二錢八厘モ取リマスレバ、大概地方ノ豫算ハ、經費ハ辨ズル見込デアル、マア大體サウ云フヤウナ趣意デ
○降旗元太郎君 今經費ノコトデ伺ヒマスガ、ソレハ大體二付イテ今迄ノ經費額ト、ソレカラ唯今御話ニナツタ手數料ヲ取ッタル經費ト、總體ノ各府縣別ニシタ調ベガアリマスカ
○政府委員酒匂常明君 總體ノ見込ハゴザイマス、ソレヲ後トデ……
○南條吉左衛門君 チョット御尋ネテ致シマス、今ノ蠶種検査法デモ、手數料ヲ取ルコトガ出來ルトナツテ居ルト思ヒマスガ、併シ今ノハ相製ノ方ハ、一蛾一厘以内デハナカッタカト思ヒマスガ、如何デセウカ

○政府委員酒匂常明君 南條君ノ御質問デアリマスガ、現行ハ一厘デアリマスガ、今度ハ唯今申シタヤウナ事情デ、多少入費ノ増加ヲ要スルデアリマスカラ、一厘以内ト云フコトニ致シマシタ
○工藤善助君 此經費ノコトニ付イテ御伺ヒ致シマス、唯今ノ御説明ニ依ルト、從來補助セラレタルモノヨリ、約八千圓バカリ減ズルデアル、斯ウ云フ御説明デアル、此八千圓ト云フモノヲ減ジマシタノハ、誠ニ些々タルヤウデアルガ、其補助シマスルコトコロノ費額ノ使途ニ於テ、大變趣キガ違ッテ居ルヤウニ思ハレマスガ、其點ヲ伺ヒタイ、ソレハドウ云フコトカト云フト、從來補助セラレマシタモノガ、現ニ検査ノ事務ニ從事シテ居ルトコロノ、即チ手當旅費、若クバ検査所ノ準備ハ、一切府縣ガ地方議會ニ諮リマシテ、其協賛ヲ得テ支出スルコトコロノ費用ノ中ニアルデアル、唯今御説明ニ依ルト、此金ヲ以テ府縣ニ高等官ヲ置クトカ、若クハ一課ヲ設クルト云フヤウナ意味ヲ以テ、御話デアッダ、總テノ法律其他ノ事務ヲ扱ヒマスルコトハ、固ヨリ府縣知事ノ當然ナスベキ職責デアル一ノ法律ガ出タカラト云フデ、直グニ中央カラソレダケノ費用ヲ分配セラレルモノデハナカラウト思フ、即チ地方長官トシテ當然ナスベキ仕事デアル、然ルニ高等官ヤ、イロノノ費用ニ、是ガ廻テシマウト云フコトニナレバ、名ハ中央カラ出マスルコトコロノ金ハ、僅カニ八千圓減ジタ如クデアルガ、使フトコロノ金ガ、當然知事ガ監督ヲシナケレバナラヌトコロノモノデ、縣廳内ニ於テ使用スル費用ニ、之ヲ多クハ使ハレテシマフモノデアッデ、從來ノ如ク直チニ養蠶家ニ向ッテ、検査ヲシ、或ハ種ヲ顯微鏡ニ依ッテ検査スルトカ、此検査ヲスルトコロノ事務所ヲ設ケルト云フ費用ニ、廻ラヌヤウニ思フノデアリマスガ、其區別ハドレダケノ御計畫ニナツテ居ルカ、御明瞭ナル御説明ヲ受ケタイト考ヘマス

○政府委員酒匂常明君 唯今御尋ネニ對シ、併セテ先刻南條君ニ對シテ御答ヲ致シタコトヲ、少シ補ッテ置キマスガ、先ヅ現行ハ一蛾ニ付イテ一厘ト云フデアリマスノヲ、二厘位ニ上セルト云フコトヲ申シマシタノハ、法律デハ「手數料ヲ徴スルコトヲ得」ト云フ規定ガアリマシテ、其制限ハ二厘以内ノ見込デアルト云フコトヲ申上マシタ、又此二厘以内ヲ全然取ル、或ハ取ラザルトハ、是ハ地方ノ隨意デアリマス、取ッテ支辨スルカ、取ラズシテ他ノ支辨法ニ依ッテ、支辨ガ出來ルト云フコトコロモアリマセウ、是ハ必ず取ルト斯ウ云フ趣意デアリマセヌカラ其事ヲチョット申上テ置マス、尙工藤君ノ御尋ネデアリマス

が、今回中央政府ニ於キマシテ、要求シテ居ル金ハ、前申ス如ク國トシテ各府縣ニ分配スルノデアリマスガ、是ハ即チ俸給旅費又若干ノ廳費デアリマシテ、先刻述べタル如クニ、今回ハ餘程責任ガ重クナッテ來ル、唯顯微鏡ヲ見テ、事實微粒子ガ居ルトカ、居ラヌトカ云フコトデナクシテ、總テノ病毒ノ豫防法ガ規定通り行ハレテ居ルカ、ドウカト云フコトヲ、監督スルノデアリマスカラシテ、ナカク此監督人ノ腦髓モ、責任モ重クナッテ居リマス、又此法律ヲ實施シマスル上ニ於テ、此監督上ノコトハ、即チ國ノ事務デアリマス、依ッテ是ニ對スル官吏ノ俸給、旅費、廳費等ハ、國デ支辨スルコト云フコトカラ出テ居リマス、而シテ追々各地方ガ養蠶ニ關係シタ官吏トシテ分配デモスルコト、他ノ事務ニ使ッテ仕舞ウト云フ御尋ネデアット思ヒマスガ、其點ハ無論中央政府ニ於テ、サウ云フコトノナイヤウニ、監督ハ致シマスシ、且又到底サウ云フコトノ他ノコトニ服スルト云フヤウナ、時間ノ猶豫ハアリマスマイト思ヒマス

○工藤善助君 御説明中デスガ、私ノ伺フ趣意ガ分ラヌデス、監督ガ大變必要デアルカラ、費用ヲ府廳ニ分ツト云フコトガ、其費用ノ用途ガ甚ダ分ラナイ、府縣知事ガ即チ地方長官ガ、法律執行ノ上ニ於テ、監督ノ責任ハ固ヨリ論ヲ俟タナイ、此監督ノ責任ニ當ルトコロノ費用ハ、即チ府縣ノ費用、内務省ノ所轄ニ屬スル費用デ支出セラルノデアル、其方ニ之ヲ御分ケニナルノデアルカ、單ニ此費用ハ細カイ取扱上ノコトマデスルノデアルカ、府縣知事ハ府縣費ノ中ノ支出トシテ、地方議會ニ提出サレテ、其費用ヲ五万ナリ十萬ナリ、議決スレバ、其中ニ補助スルコト云フコトニナルノデアルカ、又ハ唯内務省カラ五萬ナリ六萬ナリ、帝國議會ノ方ニ所謂行政ノ整理トカ何トカ、今日ハ隨分ヤカマシク云フ時デアルカラ、唯府縣ノ費用ヲ増スト云フコトハ、議會ガ許サナイカラ、農商務省カラ即チ費用ヲヤルト云フ意味デハナイカト云フコトヲ、私ハ伺ヒマス

○政府委員酒匂常明君 此法律十八條ノ蠶病豫防事務ノ費用ハ、府縣ノ負擔トスルトアリマシテ、普通ノ設備費用ハ府縣ノ負擔デアリマス、唯今ノ國ノ事務ノ負擔ニ屬スルモノハ、國家ニ於テ負擔スル、國庫カラ今度分配致シマスノハ、地方デ使ッテ居ル金ニ對シテ、其幾分ヲ補助スルト云フノデアナクシテ、此蠶病豫防ノ事務ヲ執行スルニ對シテ必要デアルカラ、ソレダケ事務員ノ旅費等ヲ、配當スルノデアリマス

○工藤善助君 是ハ十八條デ明カニ分ッテ居リマスガ、此費用ヲ補助スルノデアナク、府縣ノ費用ヲ國家ガ増スノカ、サウスルト先刻説明ニナリマシタノハ、從前ヨリ八千圓バカリ減タマデト云フコトデアルガ、ソレハ國家ノ上カラ云フ話デアデ、府縣カラ申シマスト、一向補助ガナイト見ルヨリ外、仕方ガナイト見テ宜シイカ、此第十八條ノ蠶病豫防事務ノ費用ハ、府縣ノ負擔トシ、蠶種検査ノ事務ハ、府縣ノ負擔トシテ、其中ニ補助シタモノデアリマス、然ルニ此度十八條ハ府縣ノ負擔トシ、蠶種ノ事務ハ費用ヲ増シテヤルト云フノハ、ドウモツレガハキリ致シマセヌ、唯八千圓減ズルノミデアルト云ッテハ、地方ニ何等ノタメニナッテ居ラヌト、見ナケレバナリマス

○政府委員酒匂常明君 成程唯今ノ御話ノ如キハ、理窟ノ上ニ於テハ、多少其趣キモアルヤウデアリマスガ、併シ實際ハ蠶病豫防事務ノ費用ト云フモノデ、府縣デ使ヒマシタトコロノ検査員ト云フモノハ、ヤハリ監督ノコトヲ行フテ居リマシタリ、種々ノ事務ノ署長ニナッテ居ルトカ、サウ云フヤウナ監督ノ事務ヲ實ハ分ッテ居ルヤウナ實況デアリマス、今

度ツレ等ノコトハ一切必要ガアリマセヌ、純粹ノ技術者ヲ府縣デ置ケバ宜シイカラ、事實ハ餘程經濟ニナリマセウ

○南條吉左衛門君 唯今ノコトヲ、政府ハ解釋シテ、果シテ其上カラシテ、御調ガ出來テ居リマスカト云フコトヲ、御問ヒ致シマス、私ハ唯今ノ御説ハ大抵分リマシタト云フモノハ、蠶種検査ト云フ事柄ハ、監督ヲスル高等官ナリ、其他ノ屬官ナリ、總テノモノ皆蠶種検査ト云フモノニ從事スルカラ、總テガ蠶種ノ検査ノ費用デアル、其中ヲ是迄ノ十一萬幾ラト云フモノヲ、十萬以上ノモノハ國家ノ負擔トナッテ、直接ノ官吏ヲ検査事務ニ入レテ、蠶病豫防ニ從事スル官吏ト云フモノヲ置クカラ、官吏ノ費用ダケハ、政府ガ之ヲ自分ノ支出トスル、其他雇員、總テノ事務ニ從事スル費用ハ、十八條ニ依ッテ府縣ノ費用トスル、斯ウ云フコトニ規定ニナッテ、ソレデ政府ノ負擔ニナルベキ、十萬圓以上ノ金額ダケノコトハ分カリマシタガ、是ニ就イテ唯一蠶一厘ノ費用ヲ二厘トシタト云フギリノ答デハ、何分分カリマセヌ、凡ソ各府縣ノ費用ハ、願クハ府縣別ニ分カレバ、尙宜シイガ——尤モ費用ヲ調ベルニハ、大抵府縣別カラ合計シタモノデ、全國ノ費用ヲ併セタモノデアリマセウガ、各府縣ノ検査事務ニ要スル經費ノ總額ハ、ドノ位ト云フコトハ、大抵御見積リニナリマシタカ、其府縣ニ要スルコロノ費用ニ從ッテ多イ、此多イ費用ヲ全國各府縣ニ要スルハドノ位カ、唯蠶種ハ何百何千トカ、何百萬トカ、或ハ原種ハドノ位出來ル、此上カラドウスル、ドチラデモ宜シイガ、概略府縣ニ於テ補助スル費用ノ御見込ガ立ッテ居ルナラバ、伺ヒタイ、大分増スト思フデス、是迄ヨリハ……

○委員長井上甚太郎君 詰リ府縣別調ノ出來タモノハアリマセヌカ

○政府委員酒匂常明君 アリマスケレドモ、此ノ通ト云フコトハ、不十分デスガ、御參考マデナレバ、差上ゲテモ格別差支アリマセヌ

○委員長井上甚太郎君 チョット廻シテ戴キマセウ、サウセヌト、今ノヤウナ疑ガアリマセウカラ……

○政府委員酒匂常明君 今度蠶病豫防法實施後、地方ノ費用ガドレ程増スカト云フコトノ見積リハ立ッテ居リマス、其見積リニ依リマス、從前ノ費用ノ二割三厘位、地方ノ費用ガ殖ヘルデアラウ、斯ウ云フ見積リニナッテ居ル、ソレデ從前ハ地方費ハ、即チ二十一萬三千圓バカリ使ッテ居リマス、ソレカラ検査手数料トシテ一萬五千八百圓バカリ今日現ニ徴收シテ居リマス、ソレカラ國庫ノ補助ハ、十一萬六千圓バカリデアリマス、合計三十三萬一千圓餘ニナッテ居ルノデアリマス、今後ハ此國ノ先刻申上ゲマシタ事務ノ費用ヲ併セテ、四十萬八千圓位ノ見込デアリマス、ソレデ其中國ノ負擔ハ十萬六千九百圓バカリデアリマシテ、又地方費ハヤハリ二十萬、或ハ二十一萬圓餘、從前通りニ致シマス、即チ其差額ヲ蠶種検査手数料ヲ徴收シテ、先刻申マシタヤウナ事實デ補ヒガ出來マス、斯ウ云フ大體ノ勘定デアリマス

○武藤金吉君 私ハ大體ニ付イテ此蠶種豫防法案ノ法律ノ精神、此十八條十九條ハ、隨分エライ舐刑ノ處分モゴザイマスヤウデアリマス、又罰金ノ制モ設ケテアルヤウデゴザイマスガ、此蠶種検査法ヲ行ヒマシタ當時ニ、之ヲ違反スルヤウナ製造者ニ於テ行爲ガアリマシタカ、又此官吏ニヤハリ不正ノ行爲ガアッタ例ガアリマスカ、又官吏ガ從來ノ検査員ノ如キヲ採用シマスカ、又ハ蠶業ノ經驗教育ノアル者ヲ御採用ニナリマスカ、其

邊ヲ伺ヒタイ

○政府委員酒勾常明君 唯今御尋ノ蠶種検査ニ從事スル職員が、不當ノ行爲ガアツタカト云フコトハ、明カニハ記憶シマセガ數回アリマシタ、收賄ト云フヤウナコトデ、併シ澤山アツタト云フデアリマセガ、少々ト雖モ、事實ハアリマシタ、今後ハ殊ニ警メル考デアリマス、官吏ノ登用ハ無論法律實施ニ適任アルモノヲ精撰シテ使ヒマス、今日從事スル優等ノ者ハ、此中ニ含マル、コトガ、事實起ラウト考ヘマス

○武藤金吉君 此法律ノ施行ト共ニ、検査吏員ハ從來ヨリ増サウト考ヘマスガ、其邊ハ如何デアリマセウカ

○政府委員酒勾常明君 無論從來ヨリハ増シマス

○朝倉鐵藏君 蠶種製造家ハ勿論、養蠶者、生絲ノ製造者、其他モ此豫防法ニ付イテ必要ナル施設ヲナスベシト云フコトハ、命令ヲ以テ定メラル、ノデアリマセウカ、ドノ位ノ施設ヲスレバ宜シイデアリマセウカ、ソレヲチヨット御聞キ申シタイ、ナカノ、多數ナモノデアリマスカラ、監督トカ取締リトカ云ヒマシテモ、行届クコトハ至難ノコトデアラウト思フデアリマス、ドウ云フ方法デソレヲヤリマスカ、又費用ハ例令バ一蠶ニ付イテハ二厘以下トカ、普通蠶卵紙ハ一枚ニ付イテ二錢五厘トカ、サウ云フ手數料ヲ徴收シタノハ、検査ニノミ充テ、検査以外ノ豫防ニハ、地方費ヲ以テヤリマスカ、此邊ヲ伺ヒタイ

○政府委員酒勾常明君 微粒子病ニ付イテハ、現今ノ方法デアリマス、其他軟化病、硬化病、膿病等ハ、蠶室、蠶具ノ消毒デアリマス、其消毒ハ最モ簡便ナルハ「ホルマリ」ンヲ、噴水器ヲ室内ニ撒布シ、或ハ一室ニ器具ヲ入レテ、其中ヲ燻蒸ヲ致シマス、或場合ハ普通ノ熱イ蒸汽デモ、大分消毒ノ效ガアリマス、サウ云フ手段デアリ、且ツ消毒ニ時機ガ自然ニアリマスカラ、監督モ十分ニ届ク積リデアリマス、ソレカラ蠶蛆ノ方ハ、蠶蛆ガ蛹ノ有様ヲ爲シテ居ル場合デアリマスカラ、其蛆ノ場合、及蛹ノ場合——蛆ガ蛹ニ變化スル時ニハ、種々ナ隙間ヲ通テ、外へ出テ蛹トナッテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ外へ出サヌヤウニ、隙間ヤ床ナドニ目張りヲシマス、又繭ヲ運搬セシムルトキニハ、必ラズ目張りノアル籠デ、運搬ヲサセルト云フヤウナコトデ、是モ驅除ガ出來マス積リテス、夫等ノ費用ハ個人ガ負擔シマス

○朝倉鐵藏君 今福島縣ナドデハ御話ノ通りニヤッテ居リマスガ、甚ダ有名無實ニナッテ居リマス、中々個人ニヤラセルト云フ位ノコトデハ、容易ニ行ハレマセヌ、之ヲ是非ヤラセヤウトスルニハ、アル極メタ時期ニ、多數ノ監督者デモ入レテヤラセナケレバトモ難イ、之ヲ一般ノ當業者ニヤラセルト云フコトハ、餘程難イコトデアリマスカラ、ソレデ御聞キ申マシタ

○政府委員酒勾常明君 夫ハ此法律第四條ニアル如ク、主トシテ法律發布ト同時ニ、消毒ノコトハ蠶種製造者ニ適用スル積リテ、一般養蠶家ニハ直ニ適用シマセヌ、夫ヲ監督モ十分ニ出來ル積リデアリマス

○工藤善助君 チヨット伺ヒタイ、唯今朝倉サンナドノ御質疑ガアリマスカラ、要スルニ第三條、第四條、第十九條等ノ、命令ノ定ムルコトニ依ル、此法律ヲ一通リ通讀シテ見マスト、是ハ蠶病ヲ豫防スルコト云フ大體ノ趣意ハ、分ッテ居リマス、併シ此法律ヲ實行スルニ於テ、今日ノ場合ニ於テ、何等ノ効モナイ、要スルニ命令ト云フモノハ、初メ

テ活動スルコロノ規定ニナル、其規定ノ如何ニ依ッテ、此法律ノ贊否如何ニモ、影響ヲ及ボスモノデアラウト考ヘル、併ナガラ此法律ガ衆貴兩院ヲ通過シタ曉デナケレバ、固ヨリ發布ニナルコトハナイト思ヒマスガ、此法律ヲ拵ヘルト同時ニ、必ズ其腹案ハ御持チニナッテ居ルダラウト考ヘマスカラ、此際御差支ナクバ、ソレヲ御示シテ願ヒタイ、ソレカラ序ニ尙一ツ伺ヒマスコトハ、唯今朝倉サンヘ御答ニナッテコトハ、第四條ニ於テ普通ノ養蠶家ハ取除クコト云フ御説明デアリマシタガ、此法文ヲ通讀シタコロデハ、サウ取レナイ、第三條ノ「蠶種製造者」養蠶者生絲製造者又ハ生繭ノ賣買者ハ殺蛹乾繭ニ從事スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ「此事ヲヤレ、施設ヲシロ、ト斯ウ書イタル、二項ニ行ッテドウ云フコトガ書イタルカ、主務大臣ハ學術研究ノ爲養蠶生絲製造、又ハ殺蛹乾繭ヲ爲ス者ニ對シ前項ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得」トアリマス、サウスルト、第三條ノ一項ニ於テ、政府ノ命令スルコロニ依ッテ、必ズ普通養蠶家モ其施設ヲシナケレバナスト云フコトハ、明カニ法律ガ命令シテアッデ、其第二項ニナッテ、何ト書イタル、學術研究ノ爲養蠶生絲製造殺蛹乾繭ヲナス者ニハ、前項ヲ適用シナイトアル、而シテ第四條ニ、蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ、蠶室及蠶具ノ消毒ヲ行フヘシト書イタル、此法律ヲ眞直クニ讀シタコロデハ、唯今朝倉サンヘ御話ハ矛盾シテ居ルヤウニ考ヘマス、モウ一ツハ、全國ノ經費ノコトデアリマスガ、此法律ガ速ニ通過シテ法律トナタトキニハ、唯今朝倉サンハ四十萬圓餘ハ、ドウ云フ風ニ、ソレヲ御配付ニナリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員酒勾常明君 蠶病豫防法ニ依ルトコロノ命令デアリマスガ、是ハ即チ施行細則上ニ於テ規定スベキコトデアリマシテ、法律以外ノ事項アル、是ハ行政廳ノ主務大臣ガ責任ヲ以テ拵ヘルモノデアリマス、併シ拵ヘマスニハ無論慎重ニ調査シテ、實際ニ不都合ノナイモノヲ、發布スル積リデアリマス、ソレカラ第四條ハ、即チ第三條ニ必要ナル施設ヲナスベシト云フ大體ノコトガ、規定シテアリマスガ、第四條ニ特ニ蠶室蠶具ノ消毒ト云フコトガ設ケテアリマスカラ、蠶室蠶具ノ消毒ハ、四條ヲ適用スルノデアリマス、夫カラ國庫ノ金ヲドウシテ配付スルカト云フコトハ、是ハ即チ内務省ノ豫算中ニ編入致シマシテ、サウシテ配付ヲ致シマス、此例ハ外ニモイロノアリマス、例ヘバ現今農商務省デヤッテ居ル肥料検査ノコトナドモ、内務省ノ豫算中ニ組ンデ、地方ニ配付シテアリマス、夫カラ先刻私ノ申シタコトニ付イテ、誤リガアリマスカラ述ベテ置キマスガ、蠶病豫防ノ費用ノ總額四十萬八千圓ト云フコトヲ申シマシタガ、是ハ國庫カラ出シマスル金ヲ除イタ計算デアリマシテ、國庫ノ分ヲ合セルト五十一萬五十六千圓ト云フモノニナリマスカラ、誤リヲ正シテ置キマス

○大野久次君 唯今朝倉君カラノ御尋ネガアリマシタガ、此命令ニ依ッテ餘程働ラキガ違ッテ來マス、實ハ其命令ト云フモノヲ拜見スレバ、都合ガ宜イデアリマスガ、夫ガ拜見ガ出來ヌトスレバ、一々伺ハナケレバナラス、此六條ニ繭屑片薄ナル繭又ハ形狀ヲ失スル繭「トアル、是ハドレダケ位ノ程度デ御採リニナリマスカ、又蠶兒ノ發育不良云々ト云フコトデアリマスガ、從前モ是ハ多少制限ガアッタヤウニ考ヘテ居リマシタガ、是等ノ取締ハ、ドノ程度マデ行クノデアリマスカ、御腹案ガアリマスカラ、御示シテ願ヒタイ

○政府委員酒勾常明君 第六條ノ繭屑片薄ナル繭、又ハ形狀ヲ失スル場合、是ハ大概養蠶家ガ見マシタナラバ自ラ此種ヲ取ルニ適當ナ層ヲ備ヘテ、厚サモドウデアルト云

フコトハ、分ルテアラウト思ヒマス、ソレカラ四項ノ蠶兒發育不良ニシテ、收繭ノ量著シク減少シタルモノ、是ハ即チ生繭ノコトハ、是ハ施行細則ニ於テ、率ヲ定メル積リデアリマス

○廣瀬久政君 此第三條ニ付イテ、チヨット承リタイ、既ニ第三條ニ於テ唯今工藤君カラ御質問ガアリマシタガ、蠶種製造家ヲ初メ、養蠶家其他ノ者ハ、總テ蠶病豫防ノタメニ必要ナル施設ヲナセヨト云フ法文ガ、明カニアル以上ハ、ヤハリ一鉢ノモノモ含シテ居ラナケレバナナイト考ヘテ居リマス、然ルニ第四條ノ蠶種製造者ニ對シテ、蠶室蠶具ノ消毒ヲ行フト云フコトガアルカラ、第三者ノ養蠶者製絲製造業者ノ方ハ、總テ取除ケテアルトスレバ、第三者ハ殆ド無意味ノモノニナリハセヌカト思ヒマス、殊ニ二十二條デアリマスガ、罰則ノ方ニ至テモ、是ニ基イタナラバ、二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ストアッテ、御命令デ相當ノ施設ヲ爲セヨト云フ、之ニ尋常養蠶家竝ニ生絲製造業者ガ背反スルト云フヤウナ場合ニハ、ヤハリ此罰則ニ當テ往カナケレバナラヌカト思フ、サウスルト三條ノ意味ガ殆ド無意味ニナルカノ如ク思ヒマスガ、今少シ詳細ノ説明ヲ希望シマス

○政府委員酒匂常明君 先刻申シマス通ニ、蠶室蠶具ノ消毒ハ、特ニ四條ガアリスノハ、則チ蠶種製造者ニ此事ハ適用スルト云フ趣意カラ出テ居ルデアリマス、ソレカラ第三條ノ必要ナル施設アル分ハ、施行規則ニ當リマシテハ、多少細カイコトモアリマスガ、併シ重モナルコトハ、則チ蠶蛆ノ場合ニ於テ先刻申上ゲマシタ如ク、目張ヲ致シマスとか、或ハ殺蟬乾繭室ナドノ外ノ圍ヲシテ、蠶蛆ノ出ヌヤウニスルトカ、サウ云フヤウナ多少工事的ノ設備ガ必要デアリマス、此等ハ則チ第三條ノ施設ヲ含ムデアリマス、蠶室蠶具ノ消毒ハ、第四條ニ規定シタ通デアル

○武藤金吉君 唯今諸君カラノ三條四條ノ、段々ノ御質問デゴザイマスルガ、元來此命令ト云フ、唯二字デ以ッテ、此法律ガ死シタリ活キタリスルデアアル、殊ニ此農商務大臣及農商務省ノ御役人等ハ、或點ノ命令ニ付イテハ、吾々が御信用申スコトガ出來ナイコトガ多イデス、斯ウ云フ殆ド重大ナ養蠶業ヲ支配スル法律ガデス、法律ガアッテモ、農商務大臣ノ命令ノ方針ガ分ラヌ時ニハ、折角此案ガ若シ通過シタシテモ、死物ニナルデス、此命令ノ方針ト云フモノハ、此法律ノ私ハ骨子チヤラウト考ヘルノデス、デドウカ此命令ト云フモノハ、ドウ云フ風ニシテ、施行細則ヲ行フカト云フコトハ、最モ吾々が承知致サンケレバ此法律ヲ折角議シテモ、殆ド無汰ニナル位ノコトダラウト信ジマスカラ、折角農商務大臣モ御臨席デゴザイマスカラ、十分ニ吾々ニ御説明ヲ願ヒタイ

○南條吉左衛門君 私モモウ少シ立入ッテ、一鉢御説明ニナッタ分ルデアラウト思フデス、唯今ノ御話シノヤウナ事スルト、段々御説明ノ中ニ、少シツ、ハ分ッテ來ルデスガ、抑々蠶種検査法ヲ廢シテ、本法ヲ制定シテ施行スルト云フ目的ハ、先ツ蠶病ニアッテハ、第一ニ微粒子病、其他ノ軟化病デアルトカ、何トカ云フ病ガアルガ、著シイ病ハ蠶蛆ノ害ト云フノガ著イデアアル、然ルニ先刻ノ朝倉君ノ御問ニ對シテハ、總テノコトハ四條ニ定ッテ居ルカラ宜シイ、斯ウ云フヤウナ風ニナッテ、普通養蠶家ナドハ何モ致サナクッデモ宜シイト云フヤウナコトデアルケレドモ、併ナガラ消毒ト云フコトハ、私ノ思フニハ、隨分範圍ガ廣イダロウト思フデ、其完全ナル消毒ト云フコトニナッタナラバ或ハ藥品ヲ用井タリ

何カシテ致サナケレバナラナイ、サウ云フ事柄デ今モ御説明ノ通、容易ナラサル此時局ニ當テモ、此業ヲ改良發達スルタメニ、增收ヲ得タリ、所謂利益ヲ得タイタメニ發スル法律デアル、其法律ガ五分以上ノ金ニシテハ、一般ニ日本全國ノ國家ナリ、人民ナリガ使ッテ、是ニハ又當業者ノ方モ、幾多ノ此上ニ人夫ト云フモノヲ徒費シナケレバナラヌケレドモ、ソレガタメニ得ルコトコロノ利益ガ、大ナレバ是非共致スト云フコトデアッテ、蠶蛆ト云フヤウナ事柄ニ至ッテハ、普通養蠶家モ、蠶種製造家モ、齊シク茲ニ書キテアルヤウナコトハ、相共ニ致サナケレバ、其目的ヲ貫徹スルコトガ出來ヌト云フコトハ、既ニ農商務省ニ於テモ万々御承知ノコト、思フ、ソコデ先刻來ノ命令ト云フモノハ、ドウ云フコトデアルト云フコトヲ、御尋ネニナルガ、命令ハ即チ法律ガ生ミ出スモノダカラ、法律ガ確定セヌ中ハ、命令ハ定ラヌト云フコトハ、是ハサウデゴザイマセウケレドモ、先刻工藤君モ申述ベラレタ通、凡ソ此法律ヲ布クニハ、先ツ其當時ニナッテハ、養蠶家ニハドノ位ノ事ヲサセル、蠶種製造家ニハドノ位ノコトヲサセル、其他製絲家ナリ、生繭取扱ナリ、皆サウ云フ關係者ニ付イテ、是ダケノ事ヲサセヤウト云フ目的ヲ以テ、此法律ヲ制定サレタト云フコトヲ、少シク悉ク此三條ノ意味ヲ、御申述ベ下スタナラバ、自ラ施行細則ノ大體出來ルトコロノ要素モ、分ッテ來ルカト思フノデスガ、先刻來ノ御答ヲ唯傍カラ聽イテ居ルト、明治二十八年四月一日ヨリ施行サレルノハ、單ニ蠶種製造家限リノコトデアアル、蠶種製造家限リノコトデアラナラバ、一體今ノ検査法デモ稍、事足りテ居ル、然ルニ此法律ヲ殊ニ出スト云フノハ、廣ク養蠶家其他之ニ關係スル者ニ及ボサナケレバ、其病毒ナリ、害物ナリヲ除イテ、目的ヲ達スルコトガ出來ヌト云フデアリマスカラ、其事ハ確カニ本法ノ中ニ含シテ居ルト推測致シマス、ドウゾ少シ悉ク此施行ニ付イテノ事ヲ述ベ下サッタナラバ、其命令ノ趣旨ノアルトコロガ分ルデアラウト思ヒマス

○委員長井上甚太郎君 此命令ト云フ文字ハ、大變貴重ナ文字デスガ、今其所ニ出來テ居ルヤウデスガ、ソレヲ御配リナスタラドウデス

○政府委員酒匂常明君 先刻此命令ノ程度等ニ付イテ、段々御尋ネモアリマス、茲ニ此豫防法實施ノ要領ヲ、筆記ヲ致シタモノガアリマスカラ、之ヲ御參考ニ御廻シスルコトニ致シマス、夫カラ唯今ノ南條君ノ御話中ニ、蠶蛆モヤハリ蠶種製造者バカリニ適用スルカト云フ御尋ネノヤウデアリマスガ、蠶蛆ハ總テ養蠶家モ、製絲家モ、皆ヤル積リデアリマス、唯消毒ノ分ガ今回ハ蠶種製造案ニ四條ニ至ッテ極デ居ル、蠶蛆ハ、全體ニ適用シマス

○大野久次君 私ノ質問ニハ、政府委員ノ御答ガアリマセヌガ、如何デス、此六條ノ四ニ付イテ……

○政府委員酒匂常明君 是ハ即チ先刻大概率ヲ極メル積リデアルト云フコトヲ、申上ゲテ置キマシタ、則チ蠶量一匁ニ對シ、收繭ノ量、一化生ニアリテハ一斗五升未滿、二化生ニアリテハ一斗二升未滿、多化生ニアリテハ一斗未滿ナルトキハ、收繭ノ量ノ著シク減少シタルモノト看做スト云フ見込ナノデス

○委員長井上甚太郎君 是デ休憩シマス
午後零時十二分休憩

午後一時十八分開議

○委員長井上甚太郎君 ソレデハ午前二續キマシテ、會ヲ開キマス、チヨット御注意迄ニ申シマスガ、非常ニ大切ナ問題デ、種々ナコトガゴザイマスカラ、成ベク御一人ノ方ガ御發議ニナリマシタラ、其御意見ダケハ十分盡シテシマウウニシタ方ガ、宜シカラウト思ヒマス

○朝倉鐵藏君 チヨット質問シマスガ、養蠶者ト云フ者ニ對シテハ、單ニ此蠶蛆驅除法ノミ之ヲヤラセル、併ナガラ此要領ノ方ニ依テ見マスト云フト、蠶病ノ蔓延ノ憂アルトキハ、ヤラセルト云フトコトガゴザイマスケレドモ、普通ハ唯蠶蛆ノ驅除法ダケヤラシテ、サウシテ蠶室蠶具トカ云フヤウナ方ノ消毒ハヤラセヌ、斯ウ云フトニ承知シテ宜イノデアリマスカ

○政府委員酒匂常明君 即チ二條ニアリマスルトコロノ、病蠶ヲ滅殺シ、現ニソコニ病蠶ガアリマスレバ、ソレハ病蠶モ滅殺シナケレバナラヌ、蠶室蠶具ノ消毒ト云フトコトハ、第四條ニ依テ蠶種製造者ニ規定サレテ居リマスケレドモ、現ニ病蠶ガソコニアル、ソレヲ拋棄シテ置クコトハ、普通養蠶者ハ出來ナイ、是ハ滅殺シナケレバナラヌト云フトコトハ、二條ニ依テ出來テ居リマス、蠶蛆ハ無論ヤラナケレバナリマセヌ、現ニ病蠶ガ居レバ、ソレハヤハリ滅殺シナケレバナリマセヌ

○朝倉鐵藏君 尙御問シマスガ、サウナリマス、ソレヲ其病蠶ガアルト云フトコトヲ、ドウ云フトコロカラ見分ケマスカ、若シソレ自身ガソレヲ隱蔽シテ置クト云フヤウナコトハ、仕方ガナイヤウナコトニナラウト思ヒマスガ、ドウデス

○政府委員酒匂常明君 唯今ノ御尋ネノ點ガ、即チ此監督者ノ所謂監督スベキトロデアリマシテ、勿論各養蠶家ノ家ニ同居シテ、監督シテ居ル譯デアリマセヌガ、併シ病氣流行ノ模様ガアリマシタトキハ、勿論デアリマスシ、其他モ凡ソ此適當ナ時期ニ臨檢ヲシマシテ健康デアル、或ハ病蠶ガ現ニ居ルニ、斯ノ如クシテハイカヌ、尙背クモノハ相當ノ制裁ガアルト云フ譯デアリマスカラ、其報告ヲ待ツテ往クト云フトデアリマセヌ、此方カラ臨檢シテ、始終監督シテ居ル譯デアリマス

○朝倉鐵藏君 尙御問シマス、ソコデス、私ガ午前二問ヒマシタノガ、サウ云フ事柄ニナレバ、非常ナル官吏ノ數ヲ餘計ニシ、從テ費用ガ餘計掛ルト云フトコトニナッデ、ナカノ容易ニ行ヘヌカト思フガ、併シソレデモソレヲ地方費トシテヤラセルト云フ、御見込ニナッデ居ルノデアリマスカ

○政府委員酒匂常明君 即チ是ハ程度ノ問題デアラウト思ヒマスガ、例ヘバ警察ノ取締ニハ、凡ソ家毎ニ巡查ガ居ルト云フトコトデナクシテ、凡ソ何人ノ巡查ガアレバ、大概取締ト云フモノガ出來ヤウト云フ如クニ、蠶病ニ付イテモ、凡ソ略々何人ノ吏員ガ居ッタナラバ、取締ガ出來ヤウト云フ目安付ケテ、吏員ヲ養ヒマス、或ハサウシテ隱蔽スルトカ、不都合ノアルモノガ、万一發見サレタナラバ、是ノ制裁ガアルト云フトコトニナリマスカラ、先ヅ人々ガ注意シテ、隱蔽隱匿ハナカラウト思ヒマス、其上臨檢シマスカラ、左程澤山ノ人がナクテモ、出來ヤウト思ヒマス

○朝倉鐵藏君 尙御問シマス、サウシマス、此蠶蛆ノ驅除ト云フトコトハ、養蠶家ハドウシテモ行ハナケレバナラヌ、若シ之ヲヤラヌトキニハ、此方ノ罰則ニ當ル、斯ウ云フノハ無

論デアリマセウ、併ナガラ今御話ノ蠶病ト云フヤウナコトガ、臨檢致シマシタ、時分ニ發覺シタ、ソレマデ隱シテ置イタカラ、直グニ罰則ニ當レル、斯ウ云フヤウナコトニナリマスナ

○政府委員酒匂常明君 故意ニ隱匿シタ事實アレバ、罰ヲ喰ヒマス、併シ丁度往キマシタトキニ、病蠶ガ居リマシテモ、ソレハ滅殺最中デアルト云フノハ、現ニ居リマシテモ罪ニナリマセヌ、要スルニ罪狀ニ依ルコトデアラウト思ヒマス、事情ニ依ルコトデアラウト思ヒマス

○工藤善助君 チヨット伺ヒタイ、蠶病豫防施行ノ要領ト云フモノヲ、菊蔭版ニ御拵ヘニナッテ御渡シナリマシタガ、其第二ニ「養蠶者生絲製造者又ハ生繭賣買若ハ殺蛹乾繭ニ從事スルモノニ蠶蛆ノ驅除ヲ行ハシムルコト」斯ウ云フトコトガアルカラ、是ハ養蠶家又ハ生絲ヲ製造スル人、生繭ヲ賣買スル人、乾繭ニ從事スルモノハ、皆蠶蛆驅除ト云フトコトハ行ハナケレバナラヌト云フ命令ヲ御發シナル、御趣意ニ外ナラヌト思ヒマスガ、所ガ第三ニ於テ、チヨット少シク疑ヒ生ズルノハ、唯今ノ本法ノ三條四條ニ付イテ、私共誤解シテ居ッタカ知ラヌガ、第三ニ往ッテ、自家用又ハ學術研究ノ爲、蠶種ヲ製造スル者ニモ、蠶蛆ノ驅除ヲ行ハシメル普通ノ養蠶者、生絲製造者、生繭ヲ賣買スル者、殺蛹乾繭ニ從事スル者ニモ、蠶蛆ノ驅除ヲ行ハシメルゾト云フトコトヲ書イテアッテ、三ニ往ッテ、自家用ノ蠶種ヲ製造スル者ニモ、蠶蛆ノ驅除ヲ行ハシメルト云フト、又四ニ往ッテ、大變輕イカノ疑ヒ生ジテ居リマスガ、ヤハリ普通ノ養蠶家ヨリハ、自家用ノ蠶種ト雖モ、一層重イト思フモノガ、餘程輕クナッテ居リマスガ、此間ニ何カ御考ガアリマスカ、此三條ト四條ノヤウニ何カ私ノヤウニ誤解シテ居ルト困ルカラ……

○政府委員酒匂常明君 蠶種製造業者ト申シマスルト、第二條ニ規定ノアル如ク、他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ、蠶絲ヲ製造スルモノヲ云フノデ、自家用ノ種ヲ採ルモノハ、之ニ含クンデ居リマセヌ

○工藤善助君 三條ニハ蠶絲製造者、養蠶者、生絲製造者又ハ生繭ノ賣買、若クハ殺蛹乾繭ニ從事スルモノハ云々トアル、サウスルト蠶蛆ノ驅除ヲ行フトコトハ、極リ切ッタコトニ思ハレル、其次二行ヅテ、自家用ノ蠶種ヲ製造スル者ニモ、驅除ヲ行ハシムルト云フトコトガアレバ、養蠶家ニハ含ンデ居ルヤウニ思ヒマスガ、三條四條ノヤウナ意味ノアルモノナラバ、伺ヒタイ

○政府委員和田彦次郎君 唯今ノ御疑ヒハ、一應御尤デゴザイマスガ、蠶病豫防法施行要領ノ中ノ、第二ノ三項ニ、普通ノ養蠶者デモ蠶蛆ノ驅除ヲ必要ナリト認メタ以上ハ、自家用ノ蠶種ヲ製造スル者モ、無論蠶蛆ノ驅除ヲ行ハナケレバナラヌ、是ハ申スマデモナイ話デアルノニ、殊ニ斯ウ書イタノハ、ドウ云フ理由カ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマスガ、是ハ唯今ノトコロマデ御讀ミニナラヌデ、終リマデズト讀ンデ戴キタイ、自家用學術研究ヲ假リニ取ッテ見マスルト、自家用ノ蠶種ヲ製造スル者ニモ、蠶蛆ノ驅除ヲ行ハシメ、且ツ必要ナリト認ムル場合ハ、製造者ト同様ノ規定ヲ行ハシムルコトガアルゾヨト云フ、對句ノ文章デアリマス

○工藤善助君 本文ノヤウナ、外ニ意味ガアルヤウニ思ッタカラ、伺ッダノデアルガ、趣意サヘ分レバソレデ宜シイ、ソレカラ朝倉サンカラ御聞キニナッタヤウデアルガ、養蠶者ニ對シテハ、通常ノ場合ニハ消毒ヲナサシメズト雖モト云フ、通常ト云フノハ、農商務大臣ノ御觀察ニナルトコロヲ以テナサルノデアルカラ、今現在ノトコロデハ、普通ノ養蠶家ト云フモノ

ハ、蠶病消毒法ハ先ヅ行ハシメナイト云フヤウニ、解釋シテ宜シイガ

○政府委員酒勾常明君 前段ノ御尋ネノ通、普通ノ場合ニ於テハ、消毒法ハ普通ノ養蠶者ニハ、用井マセヌト云フ見込ゴザイマス

○南條吉左衛門君 少シ立入りリマシテ御尋ネアルカ知リマセヌガ、少シ御尋ネテ致シマス、チヨット議論メイタヤウニナルガ、農商務省ノ見込ヲ伺ヒタイ、夫ハ普通ノ養蠶家ノ消毒ノ事柄アル、私共ガ學者ト云フヤウナモノデナクシテ、素人ノ考カラ云ツタナラバ、消毒ト云フコトニモ種々段階ガアルト思フ、一鉢養蠶家ニ於テハ、蠶室、蠶具ヲ清潔ニスルコトカ、洗フトカ、又掃除スルコトカ云フコトハ、何ノ必要ニ依ッテ是迄モサウ云フコトヲシテ居ルカト申セバ、無論消毒ノ目的ヲ以テ致シテ居ルノデ、籠ナリ其他ノモノガ、大層汚レテ不潔ニシテ構ハナイト云フヤウナモノデナイ、ソレヲ洗フテ使ウト云フヤウナコトハヤハリ簡易ノ消毒ト思フノアル、此簡易ノ消毒ガ普通一般養蠶家ノタメニハ、私共ノ素人ノ考デハ、大ニ利益ノアルコト、思フデ居ル、斯ウ云フ簡易ノ消毒ト云フモノヲ、一般ニナサシメタナラバ、利益アラウト思フガ、斯ル掃除スルコトカ、洗フトカ、乾ストカ云フヤウナコトハ、消毒ノ中ニハ見込マナイデ、ヤル者ハヤルガ宜シ、ヤラヌ者ハヤラヌガ宜シ、農商務省ノ消毒ト認メラル、ノハ、藥品ヲ用井テ消毒スル以外ノモノハ、消毒トハ見做サナイ、左様ナコトヲヤツデモ、素人ハ利益ガアルト思フガ、ソレノ學術上カラ研究スルト、洗フトカ掃除スルコトハ、サノ効力ガナイカラ、左様ナコトハセシムルニ及バヌト云フ見込カラ、斯ル簡易ノコトハ、多ク費用モ要セズシテ、一般ガ利益ト認メル、是ハ消毒ト名ヲ付ケルコトガ出來ヌ、適宜ニヤルカ宜シト云フ見込アルカ、其邊ヲ……

○政府委員酒勾常明君 此要領ニモ示シテ通、蠶室蠶具ノ消毒ハイツデモ藥品ヲ使フ譯デアアリマセヌガ、蒸氣デモ宜シト云フコトニナツテ居リマス、其他河デ洗フト云フヤウナコトハ、無論極ク宜シイコトデアアリマセウガ、併ナガラドウモ之ヲ以テ法律上、ソレデ十分消毒ヲシタモノト認メルコトハ、法律上ニ於テモ、亦程度ニ於テモ、困難デアリマスカラ、法律ノ認メル消毒ハ、此要領ニ書キマシタモノニ依ッテ認メルデアリマス

○南條吉左衛門君 普通養蠶家ニハ、ソレヲナサシムル必要ハナイカト云フノデス、一般ノ養蠶家ニハ、簡易ノ消毒法ヲ行ハシメタナラバ、其利益ハ一家ニ對シテハ僅々ナルモノデアアルカ知ラヌガ、全國ノ養蠶家ト云フモノノ利益ヲ集ムレバ、其利益ノ大ナルモノデアラフト思フノアル、斯ル簡易ニシテ大ナル効ノアルコトハ、眼中ニ置カヌハ、ドウ云フ譯デアアルカ、私ガ大ナル利益ト認メル方ガ、間違ヒデアアルカ、左様ナ洗ッたり掃除ヲシタリスルコトハ、シテモシナイデモ同ジコトデアアルカト云フコトヲ、伺ヒタイ

○政府委員和田彦次郎君 南條サンノ御尋ネノ箇條ハ、自ラ信ジテ爲シ、普通爲シ來ツテ居ルコトハ、此蠶病ヲ豫防スル上ニ於テ、有力ナルモノデアアルカドウカト云フト、南條サンガ御信ジノ通ニ、農商務省ニ於テモ信ジテ居ル、是ハ至極簡易ナ良法デアルト思フテ居リマス、是ハ豫防ノ一ニハ相違ゴザイマセヌガ、ソレヲ以テ全ク豫防ノ目的ヲ達シ得ルカト云フニ、尙不充分ナ點ガゴザイマスカラ、法律ノ上デハ燻蒸スルナリ、或ハ「ホルマリン」ヲ撒布スルナリ、完備ナル方法ニ基イタモノヲ、法律デハ認メル、普通全般ノ行ヒ來ツテ居リマス、掃除ヲシテ洗フト云フコトハ、極ク宜イコトデアアル、是等ハ法律ノ上ニ書ク必要モナク、一般ニ知ラレテ居ルコトデアリマスカラ、特ニ書カナカッタデアリマス、

無駄デカラ書カヌト云フノデアアリマセヌ

○朝倉鐵藏君 此法案ト云フモノハ、是迄検査法デ微粒子病ニ對シテ行ツタモノニ、ソレガ又膿病等ノヤウナ病ガ出來テ居ルカラ、之ヲ豫防セニヤナヌト云フノガ、本法ノ趣意ニナツテ居ルヤウニ見エル、サウスルト軟化病、硬化病、膿病ナドト云フモノハ、其年ノ氣候ニモ因リ、且飼育法ニ因ッテ、斯ウ云フコトガ出來ルモノカト思フデ居ル、午前二頂戴シタ弱弱版ハマダ委シク見マセヌガ、別段ノコトモアリマセヌヤウデスガ、是ハ單ニ蠶室ノコト、カ、或ハ蠶具ノ消毒ヲスレバ、此病ハ豫防ニナル、是デ澤山ト云フコトニナツテ居リマセウカ、之ヲ防グ方法ハ、別ニアルノデアアリマセウカ

○政府委員酒勾常明君 病氣ハ無論、氣候ノ關係ガアリマシテ、寒暖或ハ乾濕ノ關係ニ依ッテ、病氣ノ勢力ニ影響アリマスカ、併ナガラ一定ノ病毒ガ、蠶室蠶具ニ附著シテ殘ツテ居ルキハ、必ズ多少ノ病害ガアル、而シテ氣候ガ其病毒ノ發達ニ適シテ居レバ、益々甚ダシクナルデアリマス、昨今ノ方法ニ付キマシテハ、蠶室蠶具ノ消毒ト云フコトハ、最モ必要デアアル、併ナガラ病蠶ノ滅殺ハ普クヤルコトデアアル、尙蠶室蠶具ノ既ニ消毒シテ置キマスレバ、其時期ニ於テ病氣ガ流行シテモ、其流行シタ病源ヲ絶ツコトガ出來マスカラ、次ノ養蠶期節ハ安全デアアル、故ニ病蠶ヲ滅殺スルノミナラズ、蠶室蠶具ノ消毒モ行フコトニナツテ居ルノデアリマス

○朝倉鐵藏君 滅殺スルニハ、斯ウ云フ蠶病ハ、ドウ云フコトニ御ヤリナサルト云フコトハ、後ノ方ニデモアリマスカ

○政府委員酒勾常明君 滅殺ノ方法ハ、ドレモ同ジコトデアリマシテ、病氣ニ罹ッテ居ル蟲ガアリマスカレバ、ソレヲ取ッテ燒キ棄テルナリ、深イ所ニ埋メテシマフナリ、或ハ藥品ヲ掛ケレバ完全デアリマスカ、燒クトカ埋メルトカスレバ、ソレデ良カラウト思ヒマス

○平島松尾君 此法ヲ實行スルニ付イテ、地方ニ必要ナル機關トカ、或ハ其順序、是迄云ヘバ、検査所ヲ一郡ニハ箇所トカ三箇所トカ設ケテ、區域ヲ定メテ、臨時ニ検査員若干名ヲ入レテ、検査スル手續ニナツテ居リマスカ、此法ガ實行ニナルト、地方ニドウヤウナ機關ガ設ケラレテ、ドウ云フ手續ニナルノデアリマスカ、ソレカラ是迄検査員ハ、大概雇員デアアル、然ルニ是デ見ルト、吏員トスルヤウデアアル、若シ此法ガ實行セラレルト、此検査ニ要スル多數ノ人ヲ得難イコト、思ヒマスカ、ナニカハ外カラ御採用ニナツテ、必要ガケノ人員ヲ充タサレノデアリマスカ

○政府委員酒勾常明君 本法ヲ實施スルニ付イテハ、官吏及吏員、此ニ二種ヲ採用スルコトニナルデアリマス、官吏ハ勿論監督ノ任ニ當リマシテ、是ハ經歷學識又ハ人格ニ付イテ、精選スル積リデアリマス、吏員ニ至リマシテハ、人格ハ勿論不都合ノナイ者ヲ選マナケレバナリマセヌガ、先ヅ夫ハ無論トシテ、他ニ必要ナルコトハ、技能デアリマス、能ク顯微鏡ノ検査ヲ爲シ、又養蠶季中ニ養蠶室ニ臨ンデ、是ハ惡イ蠶デアアル、是ハ善イ蠶デアアル、又是ハ種ヲ取ツテモ宜イモノデアアル、ト云フヤウナ、鑑別ヲ爲シ得ル技能ノアルモノハ舉ゲテ、吏員トスルノデ、尤モ是ハ全國カラ選拔スルノデアリマスカ、今日現ニ從事シテ居ル者ノ中カラ、優等ノ者ハ採用スルノデアリマス

○平島松尾君 サウ云フコトニナリマスカ、縣廳デ第四課、即チ勸業課ニ從來ハ屬シテ居リマシタコトヲ、今度ハ外ニ特別ナモノガ出來ルノデスカ、或ハ是迄ノ通、勸業課ノ

監督ノ下ニヤラセルノデスカ

○政府委員酒勾常明君 ヤハリ農商務省所管ノ事務デアリマスカラ、地方廳デハ四課、即勸業課ヲ擔任スルコトニナルデアリマス

○平島松尾君 監督スル官吏ハ、屬官デスカ、技師デスカ

○政府委員酒勾常明君 此度ハ技術官ノ見込デアリマス、技師及技手、ソレデ無論地方ヘノ配當ハ、蠶種製造ノ高、養蠶ノ高ニ依リマシテ、各地差ガアリマス、蠶種製造家養蠶家ノ多イ所ハ、從テ其官吏モ多ウゴザイマス

○委員長井上甚太郎君 官吏ト云フモノデスカ

○政府委員酒勾常明君 左様デス

○平島松尾君 官吏ノ高等ナルモノハ、ヤハリ奏任級ニナルノデスカ

○政府委員酒勾常明君 サウデアリマス、併シ養蠶ノ極ク幼稚ノ所ハ、高等官ハ置キマセヌ

○武藤金吉君 此十六條ニ當該吏員ハ蠶病豫防ニ關スル狀況ヲ臨檢シ檢査ノ爲無償ニテ物品ヲ收去シ其ノ他必要ナル處分ヲナスコトヲ得「トアリマスガ、是ハ若シ蠶病ガアルト官吏ガ認メマシタ時分ニハ、假令其養蠶家ガ異議ヲ唱ヘマシテモ、無代價デ、ヨシ其蠶ガ三眠四眠以上デアッテ、半分位ハ繭ヲ造ルト云フコトガ起ツタ時分ニモ、蠶病ト認ムル時分ニハ、之ヲ厲行シテ沒收スル御意見デスカ、斯ウ云フ場合ニ就イテハ、施行上餘程養蠶者ト御役人様トノ間ニ、紛擾ガ出來ヤシナイカト思ヒマスガ、其邊ニ付イテハ……

○政府委員酒勾常明君 十六條ノ如キ場合ハ、成ベク實際ニ起ラヌコトヲ希望イタシマスガ、止ムヲ得ザレバ、是ダケノコトハ必要ト思フ、例ヘバ蠶種製造者ガ種ヲ取リマス、其種ヲ取ルトコロノ繭、此繭ガ平素養蠶期中ニ、官吏ガ臨檢シテ居リマシタコロノ蠶カラシテ、取ツタ繭トハ認メラレナイ、或ハ他カラシテ持ッテ來タ繭デハアルマイカト云フ疑ヒノアル場合ガ、随分ナイトモ限リマセヌ、サウ云フトキニ、檢査ニ於テ異議ノアルトキハ、暫ラク原質物ヲ持ッテ來テ、尙調査スル必要モゴザイマセウ、又蠶蛆ノ驅除ニ於テ、蠶蛆運搬ノ器物ニハ、目張りヲシナケレバナラス、或ハ又麻袋デナケレバナラストカ、然ルニ目張りヲシナイ、器物デ運搬シテ居ルモノガアル、此場合ニ直様罪ニ服サナイ、其時ハ證據品ヲ持ッテ來ナケレバナラスノデ、サウ云フ時ニ此條文ガ必要デアルノデス

○武藤金吉君 此該當吏員ハ施行ノ要領ニ書イテアルトコロヲ見ルト、床下ノ掃除迄殆ド警察官ガ「ベスト」ノ豫防ヲスルガ如ク、養蠶家ニ向テ厲行シ得ルコトガ出來ルヤウニ書イテゴザイマスガ、是ハヤハリ警察官ガ市内ノ床下ノ掃除ヲスルガ如ク、ヤハリ吏員ガ命令スルモノデアリマス

○政府委員酒勾常明君 ソレデ此床下掃除ノコトニ付イテハ、但書モゴザイマスガ成ベク第一ノ即チ「生繭ヲ集散又ハ保護スル室内ニ罅隙アルトキハ、目張り爲スカ、又ハ緻密ナル目ノ敷物ヲ布クヘシ」トアル、之ヲ厲行シ、是ガ完全ニ出來テ居レバ、床下ノ掃除ハ免除シヤウト云フ見込デス、併ナガラ第一ノ豫防ガ不完全ナレバ、勢ヒ床下掃除モサセナケレバナラス、又床下ノ掃除ノ不完ハ、床下ノ土ヲ搜シテ、蛹ガ居ナケレバ、完全ト云フコトニナルデアリマス

○武藤金吉君 若シサウ云フ場合ニ、官吏ガ認メテハ蠶病デアル、掃除ガ行居カヌ、空氣ノ流通ガ惡ルイ、濕氣ガアルト云フ場合ニ、該當官吏ヨリ養蠶家ノ技術經驗、總テガ上デ該當官吏ノ方ガ技術經驗總テガ劣等ノ場合ニ、議論ガ起ツテ、若シ養蠶家ガ異議ヲ申立テル場合ニハ、是ハ該當官吏ヨリモウ一層上ノ監督官吏ニ、申告デモスル場合ガアリマセンデスカ、又出來マスモノデアリマスガ、隨分蠶兒ニ病ガアッテ、ヨシ種ガ切レヌトシテモ、絲ヲ取ルトハ出來ルノデ、幾分金ヲ掛ケテヤッタノデアルカラ、種ハ切ラヌデモ絲ヲ取リタイト云フ場合ガアリマス、サウ云フ時ハドウ云フ處置ヲ取ツタモノデアリマス

○政府委員酒勾常明君 ドウ云フ御質問デゴザイマシタカ、モウ一應……

○武藤金吉君 例ヘバ此役人ト養蠶家ト見解ガ違フ、役人ヨリ養蠶家ノ方ガ技術經驗總テガ上デアッテ、此法律ヲ役人ガ施行シヤウトシテ厲行スル場合ニハ、ドウシテモ役人ノ云フコトニ服セヌト云フ場合ニ、養蠶家ハ來タ役人以上ノモノニ申告シテ、此役人ノ云フコトガ、間違ト云フコトガ、出來ルヤサヤト云フ質問デアリマス

○政府委員酒勾常明君 當該官吏ノ最後ノ判斷ハ、告發ヲ要スルノデ、無論告發シテ適當ノ判官ノ査定ヲ待ツモノデアリマスカラ、此場合ニ役人ノ見解ガ間違ッテ居レバ、無論罪ニナラヌデアリマス

○武藤金吉君 スルト蠶病試驗ノ結果ハ、裁判ニ重キヲナスデアリマスナ

○政府委員酒勾常明君 左様デス

○遠藤良吉君 蠶種製造者ト云フコトニナルト、私ノ縣ノ如キハ、私ノ縣ニ限ラズ、各所ニアリマセウガ、農學校ニ於テ蠶種ヲ製造シテ販賣シテ居ル、目下ニ至ッテハ、多クハ此農學校ノ蠶種ヲ以テヤッテ居ルガ、是等モ蠶種製造家ト見テ、此法ニ這入リマスカドウカト云フコトヲ、伺ヒタイ

○政府委員酒勾常明君 ソレハ第三條ニアリマシテ、第三條ノ二項ニアリマスル通テ、明ラカデアラウト思ヒマス

○遠藤良吉君 尙伺ヒマスガ、ソレハ二項トハ違ッテ居リマス、是ニハ學術研究ノ爲養蠶生絲製造云々トアッテ、即チ農學校ハ學術ヲ研究スルタメニ養蠶ヲスルハ勿論デアリマスガ、第二條ニ於テ「本法ニ於テ蠶種製造者ト稱スルハ他人ニ讓渡スル目的ヲ以テ」トアッテ、農學校デ二百枚トカ百枚トカシテ、ソレヲ悉ク製種スルト、二千枚トカ二千枚トカニナル、詰リソレハ販賣スル目的ニナッテ、之ニ三條ヲ適用スルハ如何ト思フ、貴君ノ御見込ハ違フト思フ、「主務大臣ハ學術研究ノ爲養蠶、生絲製造又ハ殺蛹乾繭ヲ爲ス者ニ對シ前項ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得」トアリマスガ、之ハ農學校デヤルダケノ話デ、是トハ異シテ居ル

○政府委員和田彦次郎君 賣ッテル分ヲ、ドレヘ當嵌メルカトイフ御問デスカ

○遠藤良吉君 是モ製造者ト見做スカ、ドウカトイフノデス

○政府委員酒勾常明君 然ラバ第十一條デアリマス、「學術研究ノ爲蠶種ヲ製造スル者ニ適用スルコトヲ得」トアリマス

○遠藤良吉君 學術研究ノタメデアリマセヌ、賣ル目的ヲ以テヤルノデス、學術研究ノ話ハ、此委員會ノ話、私ノ御問ヒスルノハ、委員會以外ノ話デス、

○政府委員和田彦次郎君 唯今ノ御話ハ、能ク分ッテ居リマス、學術研究外ニ於テ蠶種ヲ製造シテ賣ルト云フ目的ニ出デマスモノハ、農學校デゴザイマセウトモ、何ンデゴザイマセウトモ、第三條ノ蠶種製造者トイフ分ニ這入ルノデゴザイマス

○遠藤良吉君 ソレナラ分リマシタ

○工藤善助君 午前ヨリ質問シマシテ、略々分リマシタ、殊ニ隣席ノ南條サンニ伺ッテ分リマシタガ、此法律ノ大體ノ精神ニ付イテ、モウ一ツ伺ヒタイ、此法律ノ全體ヲ伺ウト、抑々此蠶業界ニ害毒ヲ流スモノハ、軟化病、硬化病、膿病、蠶蛆ト云フ數種ノ病ガ、蠶業界ヲ害シ、我帝國ノ生産ノ發達ヲ阻害致シマスカラ、其禍害ヲ豫防スル精神ニ外ナラナイ、依ッテ此法律ヲ實施シヤウト云フ意味デ、殆ド蠶種製造ニ要スル法律ト見テ宜イノデアリマス、表面見マスレバ、蠶病豫防法デアリマスケレドモ、現行ノ蠶絲検査法ニ外ナラナイ、今此日本國ノ蠶業界ヲ、大ニ阻害致シマシテ、生産ノ力ヲ大ニ減ジテ居ルト云フコトハ、是等ノ病ノタメニ非常ナル害ヲ蒙ルデ居ルコト、確信致シテ居リマス、是等ノ方法ハ、或ハ法律ノ發布ノ上ニ、嚴格ナル矯正ハ、善イカ惡イカト云フコトハ、研究ノ上デ申サナケレバナリマセウガ、併ナガラ此蠶種ノ製造ニ於テ、既製シタ蠶絲ノ検査ト云フコトハ出來ナイ、之ガ果シテ無毒ノモノデアルカ、病毒ノモノデアルカト云フ、蠶ノ性質如何ヲ觀察スル眼ヲ持ッテ居ルモノハ、人間社會ニハナイ、僅カニ顯微鏡ノ力ヲ以テ發見スルヨリ外ナイ、伊太利佛蘭西等ノ學者ガ發見シテ、ソレヲコナラヘ輸入シテ、今日ハ行デ居ルデゴザイマセウカラ、此法律ヲ出シテ、斯ウ云フ手段方法ニ依ッテ、蠶種ノ良イカ惡イカヲ判定致シテ、政府ハ宜イト云フ承認ヲ與フルコトハ、止ムヲ得ナイコトデアリマス、併ナガラ今全國ノ蠶業界ノ有様ヲ見マスルト、或ハ蠶種ノタメニ失敗ヲスルモノモアリマセウガ、所謂學者間ニ唱フルコトコロノ三條ノ豫防法ヲナシタナラ、我國デ一千万二千万ノ利益ガアルデアラウト云フコトハ、蠶種其モノニ歸スルノデナクテ、蠶業家全般ノ上ニ於テ、之ハ言フコトデアラウト思フ、現ニ吾々ハ是等ノ事業ニモ、多少從事致シテ居リマスガ、完全無缺ナルコトコロノ蠶種デアルト申シテモ、其季候ニ依リ、其個人ニ付イテ觀察シテ見ルト、年々連敗ヲ致シテ居ルモノガ澤山アル、ソレ等ノ者ニ消毒法ヲ能ク注意シテ、一箇年養蠶ヲ休ムトカ、若クバ消毒法ヲ十分ニ行ハシメマス、漸ク其收益ヲ見ルト云フヤウナコトニナッテ居ル、而シテ此有様ヲ見ルト、季候ニ依ッテ五軒若クハ十軒二十軒、白蠶蠶ニ侵サレテ居ルモノガアル、是ハ即チ器械器具等ヲ木ヲ以テ洗ヒ、ソレヲ天光ニ曝スタメニ、其病毒ガ風ノタメニ飛散致シテ傳染スル、斯ウ云フヤウナ結果ヨリ一地方ニ起ルモノデアラウト思フ、是迄ハ其地方ノ季候ナド、云フコトヲ申シテ居ッタケレドモ、ナカク此白蠶蠶ノ如キモノハ、其病原ガナケレバ俄ニ産ヲ破ラル、モノハナイノデゴザイマスカラ、此蠶病豫防ト云フコトハ、恰モ身軀ニ於ケル赤痢病、虎列刺病、黑死病ニ對シテ、豫防ヲ行フガ如キ感ガアルヤウニ、私ハ想像致シテ居ル、然ルニ殊更今日ノ蠶絲検査ヲ改メテ、蠶病豫防法ヲ行フデ、此蠶絲製造ノ者ニバカリ注意ヲ致シタコトガ、普通ノ養蠶家ニ之ヲ施サナケレバ、殆ド此法律ヲ改正シタ實行フナイ、サウ云フコトハ實業家ニ向ッテ、干涉ガ惡イカ云フコトハ、之ハ議論ガ別問題デアリマスガ、此法ヲシテ我帝國ノ蠶業家ニ効ヲ知ラシムルトニ共ニ、養蠶家ニモ及ボサナケレバナラヌコト、考ヘテ居ルケレドモ、第三條ニ於テ普通ノ養蠶家ハ、大分此事ニ干

渉ヲ受ケルガ如キ意味ニ取ッテ、唯獨リ蠶蛆ト云フコトハ、這入ッテ居ルノミデ、各地方ノ養蠶家ガ大ニ害ヲ蒙ルトコロノ硬化病、軟化病豫防ノコトハ、先ヅ普通ナイ今日ノ狀態デアル、此法ヲ提出シテ、之ヲ布カウトイフトコロノ意見ト、此普通養蠶家迄行ハシメナイトイフコトハ、敢テ法ノ精神ニ於テ隔絶ガアリ過ギルヤウニ思ヒマスガ、現今ノ有様デハ、普通養蠶家ニ迄ハ、之ヲ及ボスコトガ出來ナイトイフノハ、外ニ特種ノ事情ガアルカ、特種ノ事情ガアルデ、國家ノ力ヲ以テ命令スルコトハ、宜シクナイト云フ御考デアルカ、其邊ヲ伺ッテ置キタイ、モウ一ツハ、自家用蠶種ノ製造デアル、是ハ私共ハ成ベク勸誘シテ、全國ノ人ニ蠶種ヲ製造ト云フコトヲ、何分カ試シタ方ガ宜カラウト思フ、サウシテ私ハ其地方ニ於テ蠶種ヲ製造スルコトガ適當ノ地デアッタラバ、何レノ地ニカ、立派ナル蠶種ガ出來ルカモ知レマセヌ、此蠶病豫防法ヲ施ク上ニ於テ、自家用蠶種ヲ取除クト云フコトガ、其御精神ガ少シ私ニハ分リ兼ねテ居リマス、自家用蠶種ト云フモノハ、最モ大切ナモノニナッテ居リマシテ、此法文及施行手續ヲ見マスルト、自家用蠶種ヲ製造スルモノハ、居出ヲナシテ許可ヲ受クルト云フコトガナイ、普通養蠶家ト同一視セラレテ居ルナラバ、實ニ此法律ハ普通養蠶家ト云フモノヲ、輕ク見デ居リマスカラ、蠶蛆驅除ノ點ニ於テモ、誠ニ監督モ嚴重ニ行キマスマイシ、又注意モ居クマイト思フ、自家用蠶種デアッテモ、蠶種ヲ製造スル者ハ、蠶蛆ノ害ヲ及ボスコトガ、莫大ナルモノデアラウト思フ、モウ一ツハ此自家用蠶種ト云フモノハ、兎ニ角取締リガゴザイマセウケレバ、自家用蠶種ト云フ名ノ下ニ於テ、隨分地方ニ行ッテ見ルト、五十枚モ六十枚モ有ッテ居ルモノガ、遠ク草鞋ヲ穿イテ、他縣ニ販賣ヲセズトモ、隣家其他ノ人ニ融通ヲ付ケテ居ル、是等ノ蠶種ガ病毒アル蠶種デアリマスレバ、十枚ノ中一枚カ二枚有毒ノ蠶種ガアリマシタナラバ、丁度虎列刺病ノ一人アル所ニ、二十人モ三十人モ入レテ生活ヲサセテ置クト同ジコトデアル、健全ナル人ヲ損シナケレバナラヌト云フ結果ニナルカラ、此蠶種ヲ自家用ノタメニ製造スルモノハ、何カ故ニ之ヲ除イテアルカ、普通養蠶家ニ於テハ消毒ヲナセサセナイカト云フコトノ、明瞭ナル御説明ヲ受ケタイ、ソレカラモウ一ツ、序ニ伺ッテ置キマスガ、此第十條ニ「越年セサル製絲用種ニ在リテモ卵ノ検査ヲ受ケシムルコトヲ得」ト、是ハ要スルニ夏蠶、秋蠶、四化蠶等ノモノデナケレバ、適用サレナイモノト思フ、是等ハ其検査人ガ見テ、必要ナル場合ニ於テ唯検査ヲスルト云フノデアアル、施行廳若クハ本省ニ於テ、何カ是ニ就イテ検査ヲシナケレバナラヌト云フ、地方ヲ限ッテ御命令ヲスルノデアアルカ、製造者個人ニ向ッテスルノデアアルカ、此區別——唯今申述ベタル二點ニ付イテ、明確ナル御答ヲ願ヒマス

○政府委員酒匂常明君 唯今工藤君ノ三ノ問題ハ、何レモ重要ナル問題デアリマシテ、又至極尤ナ御尋ネト思ヒマス、ソレデ第一ニ此養蠶者ニ對シテ、蠶室蠶具ノ消毒ヲ何故行ハナイカト云フコトデアリマスガ、今回ノ蠶病豫防法ハ、總テ適用ヲシテ居ルノデアリマス、總テ適用シテ居リマシテ、而シテ蠶室蠶具ノ消毒スルト云フデケラ、蠶種製造者ニ限ッテ、其他ハ皆同ジコトデアリマスカラ、此蠶病豫防法ガ、單リ蠶種製造家ニ對スル法律デアルト云フ精神ハ、決シテナイノデアリマス、一般ニ對シテアル中デ、唯蠶室蠶具ノ消毒ト云フコトヲ、蠶種製造者ノミニ致シタ次第デアリマス、而シテ其理由ハ御承知ノ通ニ、此養蠶ハ非常ナル發達ヲ致シ、從ッテモウ古クヨリ練熟シタ

地方モアリマスガ、随分新シク起ル地方、及新シク蠶ヲ始メル人ト云フ者ガ、大變アルノ
デアリマス、無論御説ノ如ク全國ノ製絲家モ、養蠶家モ、悉ク此消毒ヲ行ヒマスレバ、
ソレハ完全至極デ、ソレニ超シタコトハナイノデス、併ナガラ此法律ヲ以テ、事ヲ強制致シ
マスル時ニハ、常ニ此實業上ノ實際ノ狀況ヲ顧ミルト云フ必要ガアリマシテ、往々角ヲ矯
メントシテ牛ヲ殺スト云フコトモ在ル例デアリマス、今俄カニ此養蠶家全軀ニ、此蠶室蠶
具ノ消毒ヲ行ヒ、藥品ヲ備ヘ、器具ヲ備ヘ、或ハ燻蒸ノ設備ヲセヨト云フコトニナリマス
レバ、随分此幼稚ナル及將來新タニ養蠶ヲ始メヤウト云フヤウナ者ハ、是ガタメニ餘程躊
躇スル虞ガアルヲ思ヒマス、ソレデ此養蠶ノ發達ヲ害セズシテ、此法律ヲ行ヒタイト
云フ趣意ガ、此區別ヲ立テタ所以デアリマシテ、先ヅ今日ハ此種タケハ無病健全ナルモ
ノニシテ置キタイ、微粒子病モ亦其他ノ病毒——母蛾ガ産ミシタコロノ卵ト共ニ、
分泌シタコロノ病毒ガ、卵或ハ紙ニ着イテ居ルモノガナイコトニシマシテ、種タケハ此
際健全ナルモノニシテ置キタイ、而シテ勿論此蠶場ニ行キマシテ、現ニ病蠶ガアレバ、養蠶
者ト雖モ取ル、ソレカラ法律ハ蠶室蠶具ノ消毒ト云フコトハ、養蠶家ニ適用サレマセヌ
ケレドモ、併ナガラ別ニ誘導上ノ手段ハ、十分取ルノデアリマス、モウ苟モ養蠶ヲナス者
ハ、此消毒ノ心得ガナクテハナラヌト云フコトハ、他ニ誘導ノ手段ヲ以テ、實行サセテ
行キタイ、法律ヲ以テ強制ハシナイ、併ナガラ教育誘導ト云フ手段ハ、飽マデ盡シテ法
律以外ニ於テ其事ノ實際行ハレルヤウニ、今日ハ導イテ行クト云フコトガ、即チ此養蠶
ノ發達ト相待シテ、病毒ヲ減ジテ行クトニ付イテ、一番策ノ得タモノデアラウト信ズルタ
メニ、此區別ヲ立テタ次第デアリマス、ソレカラ第二ハ自家用ノコトデアリマス、自家用
ハドウ云フモノヲ、自家用ト認メルカト云フコトニ付イテハ、斯ウ云フ趣意ヲ以テ、規則モ
立テ積リテゴザイマス、即チ蠶病豫防法ニ於テ、自家用ノタメ蠶種ヲ製造スルモノト
ハ、自カラ掃立テタル蠶種ヨリ産出シタル蠶ヲ以テ、自家飼育ノミニ供用スル蠶種ヲ製
造スルモノヲ云フト、斯ウ云フタケノモノヲ、自家用ト云フコトニ致シマシタノデゴザイマス、
併ナガラ此自家用ト云フモノガ、或ハ非常ナ弊害ヲスルカ知ラヌ、又自家用ガ盛ニ行ハ
レテ、法律ノ取締ガナイタメニ、非常ナ病毒ヲ流ス恐レガアルカ知ラン、其時ニハ第十一
條ニ依ッテ、自家用ニモ本法ヲ適用スル積リデス、第三ノ御尋ハ十條ノ但書デアリマス
ガ、是ハ検査員各自ガ任意ニ行フノデナク、農商務ノ命令若クハ地方廳ノ命令ヲ俟ッテ
行フノデアリマス

○朝倉鐵藏君 八條ノ「蠶種製造者ハ蠶種製造用ノ蠶兒ト同一飼育時期ニ於テ製
絲用ノ蠶兒ヲ飼育スルコトヲ得ス」トアルハ、此時期ト云フノハ、ドノ位差ガアレバ宜イ
ノデアリマスガ、検査ノ時ニ一緒ニ出來ノハイケンイ、少シ差ガアレバ製絲用ノ蠶ノ飼
育ヲシテ、差支ナイト云フコトニナリマスガ

○政府委員酒勾常明君 蠶種製造用ノ蠶ヲ飼ッテ居ル間ハ、外ノモノハイカヌ、ソレガ
濟ミマシタ中間ノ期日ニアリマシテハ、差支ナイト云フ積リデス

○朝倉鐵藏君 福島縣ナドニハ、澤山アリマスガ、蠶種製造家ト雖モ、其蠶種ニ用井
ルバカリデナク、同時ニ製絲用ノ蠶兒ヲ飼育シテ居リマス、同一時期ニ於テ——是等ハ非
常ニ差支ヲ生ジマス、春蠶ナラバ春蠶ニシマシテ、蠶種製造用ノ外ハ出來ヌト云フコトニ
ナリマス、一箇月モ二箇月モ過ギマスカラ、製絲用ノ春蠶ヲ飼フト云フコトハ、出來マ

セヌカラ、精々十日位シカ差ハ置ケマセヌ

○政府委員酒勾常明君 蠶種ノ飼育ガ濟ミマシタ後ハ、翌日カラデモ差支ヘアリマセ
ヌ

○朝倉鐵藏君 翌日カラシテモ、大概三十日ハ掛リマスカラ、二十日経ッタ後ニ、同ジ
春蠶ヲヤルト云フコトハ出來ヌ話ニナリマス、結局蠶絲製造家ハ、製絲用ノ蠶ハ飼育ス
ルコトガ、出來ヌト云フコトニナリマス

○政府委員酒勾常明君 自然ハサウ云フ結果ニナラウト考ヘマス、種ヲ取リマス蠶ハ、
其飼育時期ニ於テ検査官吏ガ臨檢ヲシテ注意ヲシマス、サウシテ此養蠶ノ成績ナラバ、
種ニ供シテ差支ヘナイト云フコトヲ極メマス、若シ隣室ニ製絲用ノ養蠶ヲシテ居ルコトニ
シマス、同時ニ上簇ヲシテ繭ガ出來マス、其繭ヲ混合シテ種用トシテ検査吏員ガ認メ
タモノト、普通ノトヲ混同シテ、種ヲ餘計ニ採ルト云フ恐レガアリマスカラ、ドウシテモ監
督上ハ、斯ウ云フコトニナラナケレバナラヌト思ヒマス

○朝倉鐵藏君 獨リ福島縣ノミナラズ、他ニモアルコトヲ耳ニシテ居リマスガ、假令バ一
週間トカ二週間トカ云フ差ヲ置イテ、兎ニ角製絲用ノモ出來ルコトニシテ、検査官ガ
是ハ蠶種用、後トニ屬シタノハ製絲用デアルトシテ、出來タコロデ、検査ヲ確定スルコ
トニシテ、是迄通りニシテ置イテハドウデスカ

○政府委員酒勾常明君 監督上、ソレハ出來ナイ見込デアリマス、蠶種製造家ハ蠶
種ヲ製造スルコトヲ專業ニナッテ貫ハナケレバ、始終監督者ガ同居デモシテ居ナケレバ、監
督ガ出來ナクナッテ、困難デアリマス

○工藤善助君 略々分リマシタガ、モウ一ツ伺ッテ置キタイ、自家用ノ蠶種ハ、若シソレ
ガ不都合ト認メタ場合ニハ、普通ノ蠶種製造場ト、同一ノ監督ヲスル、斯ウ云フ御説
明デアリマスガ、政府ハ今自家用蠶種ト云フモノハ、ドノ位アルト云フ御觀察デアリマス
カ、蠶病豫防法ガ改メ、現行ノ蠶種検査法ニシマシテモ、其點ハ別ニ違ッタコトハア
リマセヌ、詰リ同ジ手續ニナッテ居リマスガ、消印モナイ蠶種ノコトデスカ、之ヲ甲ノモノ
カラ乙ニ送ッテ置ケバ分ラナクナル、見付ケラレタラ、是ハ私ノ製造シタモノト云ッテ置ク
ト、ソレデ宜シイ譯ニナル、サウ云フコトハ許サヌ御精神ハ、明瞭シテ居リマスガ、ソレニ就
イテハ既製ノ蠶種ヲ、其家ニ相當スル五枚ナラバ五枚ト云フモノヲ、消印デモシテ之ヲ認
メテ置クト云フ、御考デモアリマスガ、現今ノ法律ニ依ッテ、此自家用蠶種ハドノ位ノ程
度ト云フ、御觀察デアリマスガ聞キタイ、モウ一ツハ、第十三條「検査合格ノ證印ナキ
蠶種云々」ト云フコトガ書イテアルト云フノハ、蠶種ト云フト、無論検査ガ合格致シマシ
テ、ソレデケノ政府ノ證印ヲ受ケネバ、他人ニ譲リ渡スコトハ出來ヌト云フコトガ出テ居ル
所ガ此法律ニ依ッテ一度検査ヲ受ケタモノガ、個人トシテ爲スコトハ、無論賣買ノコトデ
アルカラ、検査ヲシヤウト何ヲシヤウトモ、彼我ノ合意上カラ成立ツコトデアルカラ、之ハ固
ヨリ法ノ關係スベキ事柄デハナイケレドモ、法ノ保護ヲ受ケテ居ル農會トカ、或ハ重要物
産組合法ニ依ッテ設立サレタル組合トカ、地方團體等ガ、之ニ向ッテ再び微粒子病ヲ検査
シテ見ル、若クハ各府縣ニ於テ縣令ヲ以テ定メタ規則ニ基イテ、検査ヲスルト云フヤウナ
コトヲ、許サナイト云フ精神デアルカ、或ハ許サル、精神デアルカ、ソレカラモウ一ツハ、今
日直チニ伺ハナクテモ宜イ、會ノ初メニ方ッテ諸君ヨリ御尋ネニナッテアルガ、蠶種検査ニ

關スル是マデノ費用、即チ現行法律ニ依ッテ各府縣ニ支辨シテ居ル費用ハ、ドノ縣ハ何程、ドノ縣ハ何程アル、ソレカラ此法律ニ依ッテ將來行フトコロノモノハ、固ヨリ想像ノモノデ、縱令農商務省ト雖モ、確定シタモノアルベキデナイガ、兎モ角豫定ノモノト雖モ、今日農商務省豫算豫算ヲ御立デニナツタモノヲ、各府縣ニ割當テタモノヲ、明後日ノ委員會マデニ御廻シテ願ヒタイ、之ハ一ツ御願ヒシテ置クダケデ、前ノ二項ヲ伺ヒタイ

○政府委員酒勾常明君 自家用ニ付イテハ、先刻此自家用ノ解釋ヲ、朗讀致シマシタ通アリマス、而シテ此取締ノ點ハ、万一此法律ニ觸ルレバ、十分ナル制裁ヲ加ヘマス

○工藤善助君 現行法モ、サウナッテ居ルガ、自家用ニハ證印モナケレバ、何モ無イカラ、例ヘバ私が製造シテ南條君ニ賣ッテ、南條君が見ラレタ時ニ、私が自家用ノタメニ製造シタト云ヘバ宜イデアルカラ、自家用ト云フコトハ、産業上ノ發達ヲ促スノデ、強制スベキモノガナイガ、縱令五枚デモ十枚デモ居ケサセデ置クトカ、若クハ居ケサセデモ證印が無カッタラバ、今日ト撰ムトコロハナイ

○政府委員酒勾常明君 サウスルト、自家用ノ蠶種ハ唯其儘ニシテ置クカ、何トカ取締ノ法ガアルカト云フノデスカ

○工藤善助君 サウスルト

○政府委員酒勾常明君 ヤハリ届出ヲ爲サシメテ、種紙ノ裏面ニハ、自家用ト云フ印ヲ付ケル、ソレカラ各地テ法律ニ依ッテ検査ノ濟シタモノデ、又各地個々ニ検査スルト云フコトハ、サセナイ、第三ノ調物ハ多分明後日御目ニ掛ケルコトガ、出來ヤウト思ヒマス

○委員長井上甚太郎君 チョット政府委員ニ承ハリマスガ、先刻朝倉君カラ、段々御尋ネガアリマシタガ、蠶種製造者ハ其實ヲ異ニシテ、即チ母屋ナラ母屋ニ於テ蠶種製造ノ蠶ヲ飼育シテ、離レ家ノ方ニ於テ、絲用ノ蠶兒ヲ飼育スルトガ出來マス

○政府委員酒勾常明君 室ヲ別ニシテモ出來ナイ

○遠藤良吉君 農學校ヤ何カハ、當然製造者ト見做スト云フ御答ヘデゴザイマスガ、第九條ニ於テ「蠶種製造者ハ同一飼育時期ニ於テ他ノ蠶種製造者又ハ養蠶者ト同一ノ建物又ハ蠶具ヲ共用スルト得ス」トアル、シテ見ルト農學校ノ如キハ、私ハ世間ノヲ悉ク見ナイガ、多クハ同一ノ室デヤ居ルヤウニ思フ、他府縣ハ知ラナイガ、本員ノ縣ノ如キハ無論同一ノ室デヤ居ル、是等モ此法ノ制裁ヲ受クベキモノト考ヘルガ、併シソレハ取除クト最前御答ガアッタヤウデスカ、之ハ學術ノ方ヘ持ッテ行ク者デアルカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ第二段ニハ、府縣ノ農學校ノ費用ハ、府縣ガ負擔シテソレヲヤルモノハ、何デアルカト云ヘバ、申スマデモナク、學士モ澤山出デヤ居ル、ソレ等ノヤツタモノマデモ、即チ十分ナル法律ヲ施行スルトナレバ、検査官ヲ派シテ取締ヲナスッテ、其取締ヲ爲サルニハ、或ル府縣ニハ高等官ヲ置クガ、或ル府縣ニ於テハ置カヌ、他ノ府縣ハイザ知ラズ、本員ノ縣ノ如キハ、多分農學校出ノモノガヤデ居ル、然ラバ學術ノ十分ナル人ニヤツト、卒業シタバカリノモノガ行ッテ、十分權利ヲ振ッテ、法律ヲ十分施行スルトガ出來ルヤ否ヤ、第二段ニハ是マデハ唯今申シマシタ通り、府縣ニ於テ錢ヲ出シテ居リマスカラ、何モ検査ノ費用ヲ掛ケル必要ガナカッタカラ、蠶種モ廉ク出來、此法律ヲ施行サセルト、一蛾ニ付イテ二厘、又手數料ハ幾ラト云フコトニナルト、ソレダケノ費用ヲ増サナケレバナラス、又其費用ト云フモノハ國庫ニ收入ニナル、マダヤウゴザイマセウケレドモ、我縣

ニ於テハ非常ナル損失ヲ蒙ムラナケレバナラス、第三箇條ハドウ云フ御精神デアリマス、明瞭ニ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員和田彦次郎君 前刻本員ヨリ御答ヒ申シマシタ件デゴザイマスカラ、念ノタメ一應前ノ意志ガ誤ッテ居リマスナラバ、改メテ御聞取ヲ願ヒタイ、農學校ノ製造致シマスルモノハ、總テ蠶種製造者ト見ル趣意デハナイ、學術研究ノタメニ農學校ヲ致スモノモゴザイマセウシ、賣買シテ營利ノ目的ニ均シキ趣意ヲ以ッテ致シマスルモノヲ、蠶種製造者ト見ル外ナイ、斯ウ云フ意味デ私ハ御答ヘ申シマシタ、尙序デニ御尋ネノ農學校ヲ指ヘルノヲ検査スル官吏ハ、農學校ノ卒業者ガ、其官吏ニナリハセヌカト云フヤウナ、御意味デゴザイマシタガ、ソレハ或ル幼稚ナル養蠶地方デアリマスレバ、ソレハ官吏デナク、吏員ヲ充テルコトモゴザイマスガ、苟モ農學校ヲ置イテ養蠶生徒ヲ養成スルヤウナ地方ハ、主ナル養蠶地方デゴザイマス、是等ノトコロハ大概官吏ヲ置クヤウニナリマス、其官吏デアリマスルト、其土地ノ農學校ノ卒業者以上位ノモノガ、事實ニ於テハ技師ニ當ルノデアラウト考ヘマス

○遠藤良吉君 然ラバ斯ウ云フコトニ解釋シテ、宜シウゴザイマス、地方ノ農學校ノ如キモノ、蠶種ハ、検査モセヌ、即チ營利ノ目的ニヤラザルヲ以テ、此法律ニ含蓄シナイモノデアル、サウ云フコトデアレバ、質問スル箇條ニ關係シマスカラ……

○政府委員和田彦次郎君 第三種類ノ外ト云フヤウナ理窟ニ省クコトモゴザイマス、十一條ノヤウナ理窟ニ適用スルトガアリマスカラ、夫ハ農商務大臣カラ、十分普通ノ蠶種製造者同様ニ御答ヘ致シマシタ

○委員長井上甚太郎君 遠藤サンニチョット同ヒマスガ、分ッテ居リマス、學術研究ノ分ハ、別デ……

○遠藤良吉君 ソレナラ第三ノ御答ヘヲ願ハナクチャナラス、同一ノ建物ト云フ中ノ農學校ハ、蠶種バカリヤルノデナク、絲モヤル、製種モヤル、夫ヲ本縣ハヤッテ居リマスガ、ソレ等ハドウ云フ御都合デアアルカ

○政府委員和田彦次郎君 無論普通ノ蠶種製造者同様ニ、營利ノ目的ヲ以テ賣買スル目的デ、農學校ガヤッテ居デ、一方デハ普通ノ製絲ヤウナモノヲヤル場合ニハ、他ノモノト同様ニ出來スト云フコトニナリマス

○遠藤良吉君 ソコノトコロハ判然致サヌヤウデ、私ノ幾遍モ承ルノハ單純ナ農學校ト云フモノハ、之ニ含まスト云フヤウナコトナラ、宜シイ、含まトナレバ此法律ハドウナサルカト云フコトヲ、伺ヒタイ、唯今ハ含ムガ如ク含マザルガ如ク、施行スルガ如ク施行セザルガ如ク、即チ行政廳ノ手加減デナサルヤウナコトデハ、甚ダ困ル、果シテ今申ス通、是等ノ農學校ニ於テハ、其蠶種製造ヲ止メルカ、然ラズンバ製絲ノ方ヲ止メルカ、唯學術バカリデハ、一般ノ利益及其農學校自身ノ利益ヲ設クルコトヲ、阻害スル憂ヘガアル、此點ヲ御聞キ申サナケレバ、之ニ就イテ贊否ノ考ヘガ、湧出スコトガ出來ナイノデアリマス、其點ヲ明瞭ニ伺ヒタイ

○南條吉左衛門君 農學校其他蠶業學校ト云フヤウナ種類ノモノガ、蠶種ヲ製造スル、其蠶種ハ諸方ノ養蠶家ガ現ニ價ヲ取ッテ、配付シツ、アル、價ヲ取ッテ配付スレバ、即チ營利ノ目的ト云フヤウナモノデアリマス、元來此學校ガ如何ナル種類ノ學

校ニモセヨ、教育ヲ主トスル學校ナルモノハ、營利ノ事業ヲ一體ナスベキ法ガナイ、事實ニ於テ是ノ如キコトガアレバ、實費ヲ購フニ足リル代金ヲ納メテ、希望者ガアレバ、其製造シタ種ヲ配付スル、斯ウ云フコトニ過ギナイダラウト思フ、一體價ヲ取ツテ配付スルノモ間違ッテ居ル、間違ッテ居ルガ、希望者ガアレバ之ニ對シテ實費ヲ購ハシムルト云ウコトハ、勢ヒ免レヌコトデ、是ノ如キ學校ガアレバ、農商務省ガ御調ベニナッダラ、苟モ學校デ爲スコトダケハ、ドノ位マデ配付スルカ、ドウスルカト云フコトハ、前年來ノ實蹟ニ徴シ、又其土地ノ目的ヲ持出スト云フヤウナコトガ、御明瞭ニナッダラバ、直グ其大體ノ有様ト云フモノハ分ルダラウト思フ、學校デ配布スル此蠶種ト云フモノニハ、適用シナイトナッダナラバ、検査法ノ精神ト云フモノガ、蠶病豫防法ノ精神ヲ失ナウ譯ニナルカラ、多ク配布スル場合、所謂學術研究デモ何デモ、農商務省デ認メテ、是等ハ本法ヲ應用スル金額、又ハ一部ヲ應用スルト云フ廉ヲ以テ、他人ヘ配付スル蠶種ハ検査スル、斯ウ云ウモノダラウト、私ハ考ヘテ居ル、果シテ然ルヤ否ヤト云フコトヲ承ツタナラバ、ソレデ遠藤君ノ御問モ自ラ御分リニナルト思ヒマス

○政府委員酒匂常明君 尙一言述べ、或ハ御了解ニナレバ仕合セト思ヒマスガ、唯今ノ此和田政府委員カラノ御答ヘノ通ニ、賣買ノ目的ヲ以テ製造スルモノハ、第二條ニ於ケル蠶種製造者ト云フモノニナル、蠶種製造者ト云フモノハ、法律ノ各條ノ適用ヲ受ケルノデス、而シテ第十三條ノ但書ニアリマストコロノ「學術研究ノ爲製造シタル蠶種ニシテ、命令ノ定ムルトコロニ依リ検査合格ト看做サレタルモノ及其蠶種ヨリ產出シタル蠶兒ハ此ノ限ニ在ラス」是ハ現今モ行フテ居リマスガ、無論平素養蠶期中ノ取締モ、此法律ノ規定通りニ出來ヌ、養蠶シテ居リマストコロノ、學校講習所等ハ、農商務大臣ハ適當ト認メテ居ルトコロノ設備ヲ有シテ居ル者デアル、部分ハ之ヲ許シテ居リマス、サウ云フ場合ハ、十三條ノ但書ガ出來ルノデス

○遠藤良吉君 ソレナラバ、第二ノ手数料等ハ、無論取ラレルノデスカ

○政府委員酒匂常明君 其地方ニ於テ取ルト規定シテアルトコロハ、取ルノデス

○委員長井上甚太郎君 是ハ農學校等ニ於テ、學術上ノ研究ヲスル部分ハ、蠶種ノ賣買ハ出來ナイノデスカ

○政府委員酒匂常明君 他ノ蠶兒ヲ同時ニ飼フコトハ、出來ナイノデス

○武藤金吉君 斯ウ云フ風ニ御説明ニナレバ、能ク分ラウト思フ、例ヘバ各府縣ノ農學校ナリ、高山蠶業學校トカ云フ所デ、是マデハ斯ウデアルガ、是カラハ斯ウスルゾト云ヘハ、サウムヅカシイコトデハナイト思ヒマス、其御話ヲ下スッタラドウデス、政府委員カラシテ、是マデハ斯ウダガ、是カラハ斯ウ云フ風ニスルト云フ、御話ガ、一番分リ易イト思フ

○工藤善助君 今ノ御討議ニナッテ居ルコトハ、私共ハ承ルコトデモナイガ、其中ニ賣買スレバ、營業デアルト云フ御答ヘデアッタガ、斯ウ云フ御説明デアルト、第二條ノ讓渡ト云フコトハ、ドウ云フ定義カラ御書キニナッダノカ、賣買讓與、或ハ讓渡ト云ヒマス、代價ヲ取ラズトモ、他人ニ讓渡スコトハナラヌノカ、ソレハドウ云フ解釋カラ、御書キニナリマシタカ

○政府委員和田彦次郎君 無論賣買ノミナラズ、他人ニ無償ニテ讓渡シテモナラヌノ

デス、研究ノ目的ニ出デスシテ、他人ニ賣買讓與スル場合ニハ、無償ニテ讓與シテモ、此法律デハ製造者ト見做スノデス

○委員長井上甚太郎君 マデ十分ニ質問ハ終ラヌヤウデアリマスガ、今日ハ是ニテ一先ツ散會スルコトニ致シマス

午後二時四十六分散會